

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	学校情報機器保守管理事業				事業コード	620589						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	218	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	小学校ICT環境整備事業、中学校ICT環境整備事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	文部科学省が定める学習指導要領や「子どもの学びと成長の土台づくり」といった福知山市が目指す教育を実現するための、基礎的な情報インフラの維持及び安定化と学校教育の情報化支援環境の構築。											
対象者	市立学校 児童・生徒・教職員及び教育委員会職員				対象者数	6,605		単位あたりコスト	7.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	都築テクノサービス㈱											
事業概要 (箇条書き)	・教育系ネットワークに係る通信費の支払い ・教育系ネットワークの保守管理業務委託 ・ウイルス対策ソフト購入 ・小学校新一年生用タッチペン購入 ・家庭用モバイルルータ通信料 ・GIGAスクールサポーターICT支援業務 ・教育系ネットワーク用端末購入											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	報償費	100	全小中学校向けオンライン講座講師謝礼									
	需用費	1,614	ウイルス対策ソフト購入、タッチペン購入、教育系ネットワーク仮想サーバ修繕									
	役務費	28,350	仮想ネットワーク環境利用料、家庭学習用モバイルルータ通信料、学習系インターネット利用料									
	委託料	15,419	ICT支援員委託料、教育系ネットワークの保守管理業務									
	備品購入費ほか	1,559	教育系ネットワーク用端末購入、授業目的公衆送信保証金制度に係る保証金									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	7,388	56,131	48,258	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	9,064	0					
	③ 繰越予算	0	△ 9,064	9,064					
	前年度繰越	0	0	9,064					
	次年度繰越	0	△ 9,064	0					
小計(①~③)	7,388	56,131	57,322						
予算財源内訳	① 一般財源	7,388	56,131	52,883					
	② 国支出金	0	0	4,439					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 9						
	② 配当予算	7,388	56,122						
	③ 執行額	4,947	47,041						
	④ 執行率	67.0%	83.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.04 / 0.00	0.32 / 0.08	0.32 / 0.08	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	320	2,760	2,760	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,267	49,801	2,760	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	学校情報機器保守管理事業(地方創生臨時交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	3,086	決算付属資料	20	頁
		学校情報機器保守管理事業(公立学校情報機器整備費補助金)		教育費国庫補助金		3,360		20	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ネットワーク不具合による接続不能日数	日		2 / 0	0 / 0	0 / 0	/ 0
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	コンピュータウイルス検知率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		29.2	49.5	470.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

## V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校教育の情報化に関する法律の施行、「GIGAスクール構想」の推進等の国の方針により、学校教育におけるICT活用の推進は不可欠である。このため、その環境を整備、維持管理を行うことは必須であり、取り扱う内容は機密性が高いことから市での実施が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	学校事務における機器やシステムの導入により、事務の負担軽減が図られている。業者との協議において、より安全かつ安価な通信環境の構築を検討し、導入コストの軽減を図っている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	ネットワーク環境の安定的な運営を確保できている。現時点において情報に関する事故は報告されていない。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	学校ネットワークインフラの安定的な稼働により、学校におけるICT関連の運営を円滑に進めることができた。家庭用モバイルルータを配布することにより、モバイル端末による持ち帰り学習が可能となった。学校教育の情報化が進むことにより、学校に対してソフトウェア的なサポートが重要となっている。		
改善策  今後の課題及び方向性	ICT支援員による担当教員へのサポートや、グループウェアを活用した情報共有を引き続き行うことにより、情報教育において円滑なICT環境を整備する。 令和4年度からはICT支援員を嘱託職員として採用し、よりきめ細かなサポート体制を整える。		

## VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	小学校一般管理事業			事業コード	620505		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412	
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数	
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	
	会計	01 一般会計			決算付属資料	218・220 頁	
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等							
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	学習意欲及び教育の質を向上させ、本市の教育目標でもある「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」を図るため、教育に必要な教材等の購入及び学校施設の管理(保守・警備等)により、子どもの学びに必要な教育環境を整備する。						
対象者	市立小学校 児童・教職員	対象者数	4,414	単位あたりコスト	33.7		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティーサービス(株)、セコム(株)等						
事業概要 (箇条書き)	安定した学校運営を行うため、教育環境を整備する ・学校教育に必要な教材等の調達 ・電気設備などの施設設備の保守管理 ・警備や除草などの施設の管理						
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	需用費	92,917	光熱水費・消耗品の購入、備品等修繕料など				
	役務費	10,689	電話代・廃棄物搬入手数料など				
	委託料	20,415	警備などの施設維持管理に係る業務の委託や法定点検の実施				
	備品購入費	13,876	施設備品、教材備品、図書の購入				
	負担金補助及び交付金ほか	820	年会費等負担金ほか				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	151,069	153,061	148,160					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	151,069	153,061	148,160	予算編成時記入 (3次公表時)					
① 一般財源	149,269	151,261	146,360						
予算財源内訳	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,800	1,800	1,800					
	① 流充用額	△ 7,074	△ 10,980						
決算情報	② 配当予算	143,995	142,081						
	③ 執行額	133,181	138,717						
	④ 執行率	92.5%	97.6%						
	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.90 / 0.00	1.25 / 0.00	1.25 / 0.00	0.00 / 0.00				
人概工算	② 概算人件費	7,200	10,000	10,000	0				
	トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	140,381	148,717	10,000	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	小学校一般管理事業(地方創生臨時交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	2,869	決算付属資料	22	頁
		電柱占用料(小学校)		教育使用料	289		12		
		小学校施設(施設等光熱水費)		雑入	539		44		

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	備品整備に係る予算執行率	%	93 / 100	97 / 100	98 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校運営に必要な消耗品、備品及び教材などの購入、また施設の維持管理など、良好な教育環境を整備した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	備品購入や共通する印刷物など、単価を抑えることが想定できる場合は、取りまとめて購入し、コスト削減につなげた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	学校の規模に合わせ、必要となる施設の維持管理や修繕、教材等を購入するなど、教育環境を整備を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【定性的評価】 学習意欲及び教育の質の向上のため、学校施設の維持管理を行うとともに、学校運営において経常的に必要となる消耗品、備品及び教材などを購入し、教育環境の整備を行った。 統廃合により閉校した施設に残存する備品等について、年数が経過すれば老朽化するため、早い段階で有効活用する必要がある。		
改善策	廃校に残存する備品を活用するため、市立小中学校や各所属に周知を行い利活用を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	小学校スクールバス管理運行事業				事業コード	620506					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数					
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	220	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	中学校スクールバス管理運行事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもの学びの場を保障するため、遠距離通学の児童の安全な登下校及び校外への移動を伴う学習活動参加に対する安全確保と効率化を図る。										
対象者	バス通学児童				対象者数	274		単位あたりコスト	202.4		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	(有)チームワーク										
事業概要 (箇条書き)	・遠距離通学となる小学校児童の登下校のためのスクールバスの運行 ・校外活動におけるスクールバスの運行 ・スクールバスの維持管理 大江スクールバス 5台 三和スクールバス 3台 夜久野スクールバス 6台(中学校でも支出) 成和スクールバス 2台(中学校でも支出) 川口スクールバス 4台(中学校でも支出) 六人部スクールバス 4台 遷喬スクールバス 1台										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	需用費	1,818	バス修繕費、バス車庫光熱水費								
	役務費	369	車検に伴う諸費用								
	委託料	48,036	バス運行管理業務委託料								
	使用料及び賃借料	8	バス停留所借地料								
	公課費	576	自動車重量税								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	53,501	52,362	60,198	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	3,295	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	56,796	52,362	60,198						
予算財源内訳	① 一般財源	52,336	52,362	56,198					
	② 国支出金	4,460	0	2,000					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	2,000					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	2,429	356						
	② 配当予算	59,225	52,718						
	③ 執行額	58,357	50,808						
	④ 執行率	98.5%	96.4%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.17 / 0.03	0.58 / 0.00	0.58 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,435	4,640	4,640	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	59,792	55,448	4,640	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	バス運行経路数	経路	22 / 22	25 / 25	25 / 25	25 / 25	25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	バス利用児童数	人	210 / 210	260 / 260	274 / 260	295	295
	単位あたりコスト		211.4	224.5	185.4		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	公共交通機関による通学手段が望めない遠距離通学児童の登下校において、スクールバスの活用は必要性が高く、利用者のニーズも高い。また、通学する児童の安全を安定的に確保するうえで市が実施する必要性が高い事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	登下校においては中学校生徒の通学と兼ねて運行ルート及び時間調整を行っており効率的に運行できている。登下校以外の課外活動等の運行に活用することにより、バスの利用回数を上げ、民間借り上げによるバス運行と比較して安価に運行できている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	遠距離通学児童の安心・安全な通学手段としてスクールバスは有効な手段である。登下校において、効率的かつ安全なルートを選定し、より多くの児童が利用できるよう調整を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの安定的な運行により、すべての遠距離通学の児童の通学手段の確保と課外授業等の効率的な移動手段を確保できている。</li> <li>学校統合によりスクールバスの台数が増えており、経験豊富な運転手の確保が困難になりつつある。</li> <li>車両の老朽化が進んでいる。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス委託業者に運転手の人材を確保するように常に働きかけ安全管理についても周知、指導を行う。</li> <li>安心・安全な運行を担保するため、計画的に車両の更新を行っていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	教師用教科書・指導書購入事業(小学校)				事業コード	620511						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	220	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校教育法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	教職員が授業等で使用する教科書、教科書の内容に沿った指導書を購入し、教育の質の向上及び指導内容の統一化を図り、子どもの学びに必要な教育環境を整備する。 4年ごとの教科書改訂以外の年度においては、教職員の人事異動、また、学級数の増加などに伴い不足が生じた分の教科書・指導書の整備を行う。											
対象者	市立小学校 教職員				対象者数	318		単位あたりコスト	3.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・4年毎に改訂される教科書及びその教科書の内容に沿った指導書の購入 ・教職員の異動やクラス数の増加などに伴い不足が生じた分の教科書・指導書の購入											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	606	小学校教師用教科書・指導書の購入									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,765	422	507	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	3,765	422	507						
予算財源内訳	① 一般財源	3,765	422	507					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	67	193						
	② 配当予算	3,832	615						
	③ 執行額	3,831	606						
	④ 執行率	100.0%	98.5%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	480	480	480	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,311	1,086	480	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教員への教科書配布率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	購入対象教員数	人	351 / 351	335 / 335	318 / 318	321	321
	単位あたりコスト		110.1	11.4	1.9		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	市立小学校の教育の均等化を図るため、全教職員に同一の教科書・指導書を整備した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	教科書については、文部科学省において定価認定基準が告示され、その範囲内で文部科学大臣が定価を認定する。その価格での購入となるため、1冊当たりのコストは一律となるが、指導書については高価なため、種類や教職員単位、学年単位など、指導主事や学校と調整した上で、その必要性を精査しトータルコストの削減を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	すべての市立小学校に同一の教科書・指導書を整備することで、教育の均等化を図ることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	指導内容の均等化及び質の向上を図るため、すべての市立小学校において必要とする教科書を整備した。また指導書は高額なため、その内容や使用頻度により必要性を精査し購入をした。GIGAスクール構想において、児童1人1台のタブレット型端末が整備され、今後教育のデジタル化が進み、デジタル教科書が本格導入されることも考えられるため、教師用についても対応が必要となる見込みである。		
改善策	4年毎に改訂される教科書についてデジタル化の動向を見極め、関係機関と連携し、その必要性を精査し、整備について検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	小学校ICT環境整備事業				事業コード	620567						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	220	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	学校情報機器保守管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもの学びの場を保障するため、小学校において情報通信機器類の整備を行い、児童の情報活用能力の育成を目的とした情報教育を実施することや、教職員の業務効率化を図る。											
対象者	市立小学校 児童・教職員				対象者数	4,414		単位あたりコスト	6.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・職員室の校務用パソコン、プリンタ、周辺機器等の賃貸借 ・教育委員会用のセンターサーバ賃貸借											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	使用料及び賃借料	24,935		校務用コンピュータ機器、校務ネットワーク用サーバ機器等賃貸借								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	31,908	31,394	67,077	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	2,554	0					
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	△ 2,554		2,554			
		次年度繰越	0	0		2,554			
		小計(①～③)	31,908	31,394		69,631			
予算財源内訳	① 一般財源	31,908	31,394	26,454					
	② 国支出金	0	0	1,277					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	41,900					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	△ 6,403						
	② 配当予算	31,908	24,991						
	③ 執行額	31,476	24,935						
	④ 執行率	98.6%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.32 / 0.36	0.32 / 0.36	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	3,460	3,460	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	32,516	28,395	3,460	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	機器設置率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	機器設置対象校	校	19 / 19	16 / 16	14 / 14	14	14
	単位あたりコスト		2885.0	1967.3	1781.1		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

### V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	児童に対して今後の社会に必要な情報活用能力の育成や、校務の効率化による教職員の働き方改革を実現するうえで基盤となる環境設備であり必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争入札で執行されているため、コストについては妥当な水準と考える。</li> <li>コスト削減のため、機器等更新に際して使用できるものは再利用するなどしている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	・教師・児童ともに概ね必要な機器類を整備できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	校務用コンピュータ機器およびネットワークサーバの維持管理を行い、安定稼働させることにより、教職員の事務処理の負担軽減を継続的に行った。 今後、配備した機器をさらに利活用できるよう環境を整えていく必要がある。		
改善策	教職員の業務の効率化をさらに進めるため、計画的な機器の更新や通信環境の整備を行う。 令和4年度においては、常時授業を行う特別教室や体育館にWi-Fi環境を整備し、授業におけるタブレット端末の利活用の幅をさらに広げて行く。		

### VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

### VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

### VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(小学校)				事業コード	621551						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	220	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(中学校)											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒液等の衛生用消耗品を購入することにより、十分な教育活動を継続するための環境整備を行い、児童の学びを保障するとともに、小学校における感染症対策の徹底を継続する。											
対象者	市立小学校 児童・教職員			対象者数	4,414		単位あたりコスト	4.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底するために必要な物品の購入 ・児童の学習保障に必要な物品の購入											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	9,250	感染症拡大防止対策及び学習保障に必要な消耗品の購入									
	備品購入費	7,290	感染症拡大防止対策及び学習保障に必要な備品の購入									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	56,544	1,900	0					
	③ 繰越予算	△ 14,544	14,544	0					
	前年度繰越	0	14,544	0					
	次年度繰越	△ 14,544	0	0					
小計(①~③)	42,000	16,444	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	7,272	0					
	② 国支出金	42,000	9,172	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	98						
	② 配当予算	42,000	16,542						
	③ 執行額	41,857	16,540						
	④ 執行率	99.7%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.29 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,320	2,160	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	44,177	18,700	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(小学校)(地方創生臨時交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	7,938	決算付属資料	20・22	頁
		学校保健特別対策事業費補助金(小学校)		教育費国庫補助金		8,219		20・22	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	感染症予防対策学校数	校	/	16 / 16	14 / 14	/	14
	感染症対策に必要な物品の整備	千円	/	41857 / 42000	16540 / 16444	/	計 58444
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

### V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>子どもの学びを充実させるため、感染症対策を強化し、教育活動を継続するための環境整備を行うことができた。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>学校保健特別対策事業費補助金を活用し、学校長の判断により、各学校において必要な物品を迅速かつ柔軟に整備しているが、取りまとめて発注することで単価を抑えることができる物品については、スケールメリットを考慮するなどして整備した。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>感染症拡大防止対策に必要な衛生用品等を購入し、学校教育活動を実施することができた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、当該予算を学校に配当し、新型コロナウイルス感染症予防対策に必要な消毒液などの消耗品や空気清浄機などの備品を整備するなどし、児童の学びを充実させるため、感染症対策を強化し、教育活動を継続するための環境整備を行うことができた。今後、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を継続的に行っていくため、消毒液などの消耗品については定期的に購入し、継続した感染症対策を行う必要がある。</p>		
改善策	<p>学校教育活動を円滑に実施するため、感染症拡大防止対策に必要な衛生用消耗品を購入する予算を継続的に確保していく。なお、令和4年度からは学校教育課に所管替えし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(学校感染症対策等)として、教育活動を継続するための環境整備に必要な衛生用品を購入し、学校における感染症対策を行う。</p>		

### VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

### VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

### VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	小学校施設環境改善事業			事業コード	621553						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり		施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課		所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	220	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和12年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	中学校施設環境改善事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学校施設環境の更新時期を迎えるにあたり、便所改修や特別教室に空調設備を新設し、学校生活や、子どもの学びに必要な環境改善を行う。 ・便所改修については平成28年度から令和2年度の5年間で、児童用の普通教室においては完了したものの、特別教室に付属する便所、及び教職員用便所は老朽化が進んでいる状況である。これらの未改善の便所の改修を行い環境改善を図る。 ・空調設備改修については、快適な環境を整え、児童が学習への意欲を持ち授業に臨める教育環境整備と、夏季における熱中症予防や、新型コロナウイルス感染症対策など健康面での配慮のため、特別教室の空調設備を新設する方向で検討する。										
対象者	市立小学校 児童・教職員			対象者数	4,414		単位あたりコスト	3.9			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	株式会社 GSユアサ環境科学研究所										
事業概要 (箇条書き)	○便所改修: 令和3年度から令和12年度までの10ヵ年計画とし、対象学校は、昭和、大正、雀部、庵我、修斉、遷喬、上豊富、六人部、上川口、成仁の10小学校。 【委託料】・昭和小学校便所改修工事に伴う外壁アスベスト含有調査業務 92千円 【工事請負費】・昭和小学校管理棟ほか便所改修工事(R2繰3) 14,223千円 令和3年度実施校は昭和小学校におけることばの教室棟、児童用便所1か所、管理棟教職員用便所1か所。令和2年度前倒し補正予算を明許繰越し令和3年度工事完了。 ○空調設備改修: 令和3年度は移動式エアコンの調査期間とする。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	委託料	92	昭和小学校便所改修工事に伴う外壁アスベスト含有調査業務								
	工事請負費	14,223	昭和小学校管理棟ほか便所改修工事								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	0	13,000	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	27,000	38,700	0				
	③ 繰越予算	△ 27,000	△ 11,700	38,700				
	前年度繰越	0	27,000	38,700				
	次年度繰越	△ 27,000	△ 38,700	0				
小計(①~③)	0	27,000	51,700					
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	3,400				
	② 国支出金	0	9,000	8,400				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	18,000	39,900				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	0	92					
	② 配当予算	0	27,092					
	③ 執行額	0	14,315					
	④ 執行率	0.0%	52.8%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.34 / 0.00	0.34 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	0	2,720	2,720	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	17,035	2,720	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種類	教育費国庫補助金	4,042	22	決算付属資料	52	頁
			教育債	8,400				

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事完成率	%	/	0 / 0	100 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	工事完成校数	校	/	0 / 0	1 / 1	/ 4	累計14
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト				14315.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	「小中学校便所改修事業」は令和2年度をもって終了した。この事業では時代のニーズに見合った、和式便器を洋式便器に改修することを基本に行ってきたものである。したがって洋式便器が一つでも既存する便所においては手が付けられていないことから、今回令和3年度より「小・中学校施設環境改善事業」の一つとして老朽化した便所の改修に取り組むものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	学校施設の便所は老朽化が著しいものがほとんどであり、衛生器具、床、壁、天井、さらには給排水管の改修も同時に行うことで、長寿命化も図れ、トータルコストの縮減にも繋がるものと考えている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	R2年度をもって「小中学校便所改修事業」は終了した。これをもって普通教室に付属する児童用便所は一定の改修ができた。 R3年度「小中学校環境改善事業」においては手つかずの児童用便所に加え、教職員用便所にも取り組みを行っている。教職員の働き方改革における環境改善には必要不可欠なものとしてその有効性も高いものと考えている。令和3年度は昭和小学校の便所改修工事1件である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>便所改修工事については、R3年度は昭和小学校における管理棟の教職員用便所と、ことばの教室棟の児童用便所の改修を行った。改修後は、どの学校においても非常に喜んでもらえる改修工事の一つとなっている。引き続き老朽化の進む既存の便所の環境改善が課題となっている。</li> <li>空調設備改修は、次年度以降で特別教室にエアコンを新設するべく、その工法等検討してきた。夏場、「移動式エアコン」を学校に配置し実証実験を重ねてきた。その結果、学校の教室には移動式エアコンでは効果が期待できないことが判明し課題となった。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>便所改修工事において、小学校、1校/年での計画では、全小学校完了までに10年間を要することになり、老朽化が著しい学校においては早期な対応が望ましいと考えるが、他の事業との優先順位や予算確保、マンパワー等、課題や改善策を吟味する必要がある。</li> <li>特別教室空調設備改修は、R3年度に行った実証実験の結果から、工法的には従来型の天井埋め込み、もしくは天井吊り下げ式のパッケージ型が望ましいと考えられる。R5年度から設置工事を進めていくにあたり、電気容量が既存のキュービクルで対応できるのか等、実施設計の中で精査し令和5年度からの設置に繋げていく。</li> </ul>		

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中学校一般管理事業				事業コード	620518						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学習意欲及び教育の質を向上させ、本市の教育目標でもある「自分のために 人のために 社会のために 共に幸せを生きる人材の育成」を図るため、教育に必要な教材等の購入及び学校施設の管理(保守・警備等)により、子どもの学びに必要な教育環境を整備する。											
対象者	市立中学校 生徒・教職員				対象者数	2,142		単位あたりコスト	45.5			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	アムス・セキュリティーサービス(株)、セコム(株)等											
事業概要 (箇条書き)	安定した学校運営を行うため、教育環境を整備する ・学校教育に必要な教材等の調達 ・エレベーターや電気設備などの施設設備の保守管理 ・警備や除草などの施設の管理											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	53,505	光熱水費・消耗品の購入、備品等修繕料など									
	役務費	6,732	電話代・廃棄物搬入手数料など									
	委託料	19,668	警備などの施設維持管理に係る業務の委託や法定点検の実施									
	備品購入費	8,435	施設備品、教材備品、図書の購入									
	使用料及び賃借料ほか	1,204	借地料ほか									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	80,369	88,978	91,296	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	80,369	88,978	91,296						
予算財源内訳	① 一般財源	79,107	87,713	90,031					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	1,262	1,265	1,265					
決算情報	① 流充用額	358	757						
	② 配当予算	80,727	89,735						
	③ 執行額	79,909	89,544						
	④ 執行率	99.0%	99.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.62 / 0.00	0.98 / 0.00	0.98 / 0.00					
	② 概算人件費	4,960	7,840	7,840					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	84,869	97,384	7,840						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中学校一般管理事業(地方創生臨時交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	1,847	決算付属資料	22	頁
		電柱占用料(中学校)		教育使用料		154		12	
		中学校施設(施設等光熱水費)		雑入		371		44	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	備品整備に係る予算執行率	%	98 / 100	97 / 100	99 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校運営に必要な消耗品、備品及び教材などの購入、また施設の維持管理など、良好な教育環境を整備した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	備品購入や共通する印刷物など、単価を抑えることが想定できる場合は、取りまとめて購入し、コスト削減につなげた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	学校の規模に合わせ、必要となる施設の維持管理や修繕、教材等を購入するなど、教育環境を整備を行った。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	【定性的評価】 学習意欲及び教育の質の向上のため、学校施設の維持管理を行うとともに、学校運営において経常的に必要となる消耗品、備品及び教材などを購入し、教育環境の整備を行った。 経年劣化により買い替えが必要な楽器があるが、高額なため各学校での更新が困難である。		
改善策	高額な楽器の更新については、計画的に予算の確保を行い、学校長と調整し必要な学校に整備する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中学校スクールバス管理運行事業				事業コード	620520						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	小学校スクールバス管理運行事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもの学びの場を保障するため、遠距離通学の生徒が安全な登下校及び校外への移動を伴う学習活動参加に対する安全確保と効率化を図る。											
対象者	バス通学生徒			対象者数	60		単位あたりコスト	347.8				
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	(有)チームワーク											
事業概要 (箇条書き)	・遠距離通学となる中学校生徒の登下校のためのスクールバスの運行 ・部活動や課外活動におけるスクールバスの運行 夜久野スクールバス 6台 (小学校でも支出) 成和スクールバス 1台 (小学校でも支出) 川口スクールバス 4台 (小学校でも支出)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	19,589		バス運行管理業務委託料								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	19,768	19,813	22,048	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	19,768	19,813	22,048						
予算財源内訳	① 一般財源	19,768	19,813	22,048					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	355	△ 224						
	② 配当予算	20,123	19,589						
	③ 執行額	20,123	19,589						
	④ 執行率	100.0%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.14 / 0.02	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,170	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	21,293	20,869	1,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	バス運行経路数	経路	10 / 10	10 / 10	10 / 10	10 / 10	10
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	バス利用生徒数	人	60 / 60	60 / 60	60 / 60	60 / 60	60
	単位あたりコスト		317.9	335.4	326.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	公共交通機関による通学手段が望めない遠距離通学生徒の登下校において、スクールバスの活用は必要性が高く、利用者のニーズも高い。また、通学する生徒の安全を安定的に確保するうえで市が実施する必要性が高い事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	登下校においては小学校児童の通学と兼ねて運行ルート及び時間調整を行っており効率的に運行できている。登下校以外の課外活動等の運行に活用することにより、バスの利用回数を上げ、民間借り上げによるバス運行と比較して安価に運行ができています。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	遠距離通学生徒の安心・安全な通学手段としてスクールバスは有効な手段である。登下校において、効率的かつ安全なルートを選定し、より多くの生徒が利用できるよう調整を行っている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>スクールバスの安定的な運行により、すべての遠距離通学の生徒の通学手段の確保と課外授業等の効率的な移動手段を確保できている。</li> <li>学校統合によりスクールバスの台数が増えており、経験豊富な運転手の確保が困難になりつつある。</li> <li>車両の老朽化が進んでいる。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス委託業者に運転手の人材を確保するように常に働きかけ安全管理についても周知、指導を行う。</li> <li>安心・安全な運行を担保するため、計画的に車両の更新を行っていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針	予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	教師用教科書・指導書購入事業(中学校)				事業コード	620522						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校教育法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	教職員が授業等で使用する教科書、教科書の内容に沿った指導書を購入し、教育の質の向上及び指導内容の統一化を図り、子どもの学びに必要な教育環境を整備する。 4年ごとの教科書改訂以外の年度においては、教職員の人事異動、また、学級数の増加などに伴い不足が生じた分の教科書・指導書の整備を行う。											
対象者	市立中学校 教職員			対象者数	195		単位あたりコスト	2.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・4年毎に改訂される教科書及びその教科書の内容に沿った指導書の購入 ・教職員の異動やクラス数の増加などに伴い不足が生じた分の教科書・指導書の購入											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	38	中学校教師用教科書・指導書の購入									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	28,495	263	263	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	28,495	263	263					
予算財源内訳	① 一般財源	28,495	263	263				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	△ 2,594	△ 225					
	② 配当予算	25,901	38					
	③ 執行額	24,744	38					
	④ 執行率	95.5%	100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.19 / 0.00	0.06 / 0.00	0.06 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	1,520	480	480	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	26,264	518	480	0				

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教員への教科書配布率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	購入対象教員数	人	203 / 203	204 / 204	195 / 195	/ 203	203
	単位あたりコスト		0.3	121.3	0.2		
			/	/	/	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	市立中学校の教育の均等化を図るため、全教職員に同一の教科書・指導書を整備した。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	教科書については、文部科学省において定価認定基準が告示され、その範囲内で文部科学大臣が定価を認定する。その価格での購入となるため、1冊当たりのコストは一律となるが、指導書については高価なため、種類や教職員単位、学年単位など、指導主事や学校と調整した上で、その必要性を精査しトータルコストの削減を行った。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	すべての市立中学校に同一の教科書・指導書を整備することで、教育の均等化を図ることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	指導内容の均等化及び質の向上を図るため、すべての市立中学校において必要とする教科書を整備した。また指導書は高額なため、その内容や使用頻度により必要性を精査し購入をした。GIGAスクール構想において、生徒1人1台のタブレット型端末が整備され、今後教育のデジタル化が進み、デジタル教科書が本格導入されることも考えられるため、教師用についても対応が必要となる見込みである。		
改善策	4年毎に改訂される教科書についてデジタル化の動向を見極め、関係機関と連携し、その必要性を精査し、整備について検討する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中学校ICT環境整備事業				事業コード	620583						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校教育の情報化の推進に関する法律											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	学校情報機器保守管理事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもの学びの場を保障するため、小学校において情報通信機器類の整備を行い、生徒の情報活用能力の育成を目的とした情報教育を実施することや、教職員の業務効率化を図る。											
対象者	市立中学校 生徒・教職員				対象者数	2,142		単位あたりコスト	15.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・職員室の校務用パソコン、プリンタ、周辺機器等の賃貸借 ・教育委員会用のセンターサーバ賃貸借											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	使用料及び賃借料	29,324		校務用コンピュータ機器、校務ネットワーク用サーバ機器等賃貸借								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	35,684	29,325	57,084	予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	0	1,642	0		
	③ 繰越予算		0	△ 1,642		1,642
		前年度繰越	0	0		1,642
		次年度繰越	0	△ 1,642		0
小計(①～③)	35,684	29,325	58,726			
予算財源内訳	① 一般財源	35,684	29,325	30,105		
	② 国支出金	0	0	821		
	③ 府支出金	0	0	0		
	④ 地方債	0	0	27,800		
	⑤ その他特財	0	0	0		
決算情報	① 流充用額	0	0			
	② 配当予算	35,684	29,325			
	③ 執行額	35,683	29,324			
	④ 執行率	100.0%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.09 / 0.00	0.32 / 0.36	0.32 / 0.36	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	720	3,460	3,460	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	36,403	32,784	3,460	0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	機器設置率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	機器設置対象校	校	9 / 9	9 / 9	9 / 9	/ 9	9
	単位あたりコスト		4715.9	3964.8	3258.2		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	生徒に対して今後の社会に必要な情報活用能力の育成や、校務の効率化による教職員の働き方改革を実現するうえで基盤となる環境設備であり必要性は高い。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争入札で執行されているため、コストについては妥当な水準と考える。</li> <li>コスト削減のため、機器等更新に際して使用できるものは再利用するなどしている。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	・教師・生徒ともに概ね必要な機器類を整備できている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	校務用コンピュータ機器およびネットワークサーバの維持管理を行い、安定稼働させることにより、教職員の事務処理の負担軽減を継続的に行った。 今後、配備した機器をさらに利活用できるよう環境を整えていく必要がある。		
改善策	教職員の業務の効率化をさらに進めるため、計画的な機器の更新や通信環境の整備を行う。 令和4年度においては、常時授業を行う特別教室や体育館にWi-Fi環境を整備し、授業におけるタブレット端末の利活用の幅をさらに広げて行く。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	理科教育設備整備事業(中学校)				事業コード	621505						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	理科教育振興法 理科教育のための設備の基準に関する細目											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	生徒が学校における観察・実験等の教育活動を通じて、自然及び科学技術に対する関心や探求心を高め、科学的な知識、技能及び態度を習得させることで、科学的な見方や考え方を養うことを目標に、文部科学省が実施する理科教育設備整備費等補助金を活用し、理科実験・観察などの授業に必要な理科設備の整備を行い、子どもの学びに必要な教育環境を整備する。											
対象者	市立中学校 生徒			対象者数	1,947		単位あたりコスト	1.6				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・各学校の整備状況に応じ、顕微鏡やてんびんなどの必要な理科設備の購入を行う。 ・老朽化した理科設備の更新を行う。 ・毎年整備する対象校を選定し、順次整備をしている。 ・令和3年度の整備対象校 桃映・南陵・成和・六人部・川口・日新・三和・夜久野・大江中学校の9校。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	備品購入費	2,234	理科備品の購入									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	2,250	0					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	0	2,250	0	予算編成時記入 (3次公表時)					
予算財源内訳	① 一般財源	0	1,125		0				
	② 国支出金	0	1,125		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	0	2,250						
	③ 執行額	0	2,234						
	④ 執行率	0.0%	99.3%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.11 / 0.00	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	0	880	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	3,114	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	理科教育設備費等補助金	種類	教育費国庫補助金	実績金額	1,045	決算付属資料	22	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	理科設備を整備した学校数	校	/	/	9 / 9	/	9
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	備品整備に係る予算執行率	%	/	/	99 / 100	/	100
	単位あたりコスト		/	/	22.6	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	自然及び科学技術に対する関心や探求心を高め、科学的な知識、技能及び態度を習得させるためには、実験・観察など授業に必要な理科設備の整備は必要であり、令和3年度においては、桃映・南陵・成和・六人部・川口・日新・三和・夜久野・大江中学校の9校において、理科設備の整備を行い、顕微鏡5台、実験器具類など合計60点の理科設備を購入し教育環境の整備を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	理科教育設備整備費等補助金を活用し、各学校において必要な設備を取りまとめて購入し整備した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	1個あたりの単価が高価な理科設備において、理科教育設備整備費等補助金を活用することで、経年劣化等により買い替えが必要な設備の更新ができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	各学校の整備状況に応じ、顕微鏡などの必要な理科設備の購入、老朽化した理科設備を更新することで、子どもの学びに必要な教育環境を整備することができている。 実験器具類は、1個あたりの単価が高価なものが多いため、故障しても買い替えることが困難な場合がある。		
改善策	理科教育設備整備費等補助金を活用し、市立小中学校23校を3グループに分け、老朽化した理科設備の更新を定期的に行い、実験や観察など授業に必要な理科設備を整備していく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(中学校)				事業コード	621552						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名				R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(小学校)											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、消毒液等の衛生用消耗品を購入することにより、十分な教育活動を継続するための環境整備を行い、生徒の学びを保障するとともに、中学校における感染症対策の徹底を継続する。											
対象者	市立中学校 生徒・教職員			対象者数	2,142		単位あたりコスト	5.5				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底するために必要な物品の購入 ・生徒の学習保障に必要な物品の購入											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	5,147	感染症拡大防止対策及び学習保障に必要な消耗品の購入									
	備品購入費	4,476	感染症拡大防止対策及び学習保障に必要な備品の購入									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	0	0	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	30,524	1,100	0					
	③ 繰越予算	△ 8,524	8,524	0					
	前年度繰越	0	8,524	0					
	次年度繰越	△ 8,524	0	0					
小計(①~③)	22,000	9,624	0						
予算財源内訳	① 一般財源	0	4,262	0					
	② 国支出金	22,000	5,362	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	22,000	9,624						
	③ 執行額	21,888	9,623						
	④ 執行率	99.5%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.29 / 0.00	0.27 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,320	2,160	0	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	24,208	11,783	0	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(中学校)(地方創生臨時交付金)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	4,811	決算付属資料	22	頁
		学校保健特別対策事業費補助金(中学校)		教育費国庫補助金		4,812		22	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	感染症予防対策実施学校数	校	/	9	/ 9	9 / 9	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	感染症対策に必要な設備の整備	千円	/	21888 / 22000	9623 / 9624	/	計 31624
	単位あたりコスト		/	/	/	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	子どもの学びを充実させるため、感染症対策を強化し、教育活動を継続するための環境整備を行うことができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	学校保健特別対策事業費補助金を活用し、学校長の判断により、各学校において必要な物品を迅速かつ柔軟に整備しているが、取りまとめて発注することで単価を抑えることができる物品については、スケールメリットを考慮するなどして整備した。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	感染症拡大防止対策に必要な衛生用品等を購入し、学校教育活動を実施することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	学校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、当該予算を学校に配当し、新型コロナウイルス感染症予防対策に必要な消毒液などの消耗品や空気清浄機などの備品を整備するなどし、生徒の学びを充実させるため、感染症対策を強化し、教育活動を継続するための環境整備を行うことができた。 今後、新型コロナウイルス感染症予防対策を継続的に行っていくため、消毒液などの消耗品については定期的に購入し、継続した感染症対策を行う必要がある。		
改善策	学校教育活動を円滑に実施するため、感染症拡大防止対策に必要な衛生用消耗品を購入する予算を継続的に確保していく。 なお、令和4年度からは学校教育課に所管替えし、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(学校感染症対策等)として、教育活動を継続するための環境整備に必要な衛生用品を購入し、学校における感染症対策を行う。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中学校施設環境改善事業				事業コード	621554						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60010000 教育委員会 教育総務課			所属長	垣谷 敏数						
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費		会計	01 一般会計	決算付属資料	222	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和11年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	小学校施設環境改善事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学校施設環境の更新時期を迎えるにあたり、便所改修や特別教室に空調設備を新設し、学校生活や、子どもの学びに必要な環境改善を行う。 ・便所改修については平成28年度から令和2年度の5年間で、児童・生徒用の普通教室においては完了したものの、特別教室に付属する便所、及び教職員用便所は老朽化が進んでいる状況である。これらの未改善の便所の改修を行い環境改善を図る。 ・空調設備改修については、快適な環境を整え、生徒が学習への意欲を持ち授業に臨める教育環境整備と、夏季における熱中症予防や、新型コロナウイルス感染症対策など健康面での配慮のため、特別教室の空調設備を新設する方向で検討する。											
対象者	市立中学校 児童・教職員	対象者数	2,142	単位あたりコスト	10.3							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	株式会社 GSユアサ環境科学研究所											
事業概要 (箇条書き)	○便所改修:令和3年度から令和11年度までの9か年計画とし、対象学校は、桃映、南陵、成和、六人部、川口、日新、大江、夜久野、三和の9中学校。 令和3年度改修校は桃映中学校管理棟における、生徒用便所1か所、教職員用便所1か所。 【委託料】・桃映中学校便所改修工事に伴う外壁アスベスト含有調査業務 41千円 【工事請負費】・桃映中学校管理棟便所改修工事(R2線3) 19,226千円 令和2年度前倒し補正予算を明許繰越し令和3年度工事完了。 ○空調設備改修:令和3年度は移動式エアコンの調査期間とする。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	委託料	41	桃映中学校便所改修工事に伴う外壁アスベスト含有調査業務									
	工事請負費	19,226	桃映中学校管理棟便所改修工事									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0	0	16,200	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	27,000	15,300	0			
	③ 繰越予算	△ 27,000	11,700	15,300			
	前年度繰越	0	27,000	15,300			
	次年度繰越	△ 27,000	△ 15,300	0			
	小計(①~③)	0	27,000	31,500			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	4,246			
	② 国支出金	0	9,000	3,254			
	③ 府支出金	0	0	0			
	④ 地方債	0	18,000	24,000			
	⑤ その他特財	0	0	0			
決算情報	① 流充用額	0	41				
	② 配当予算	0	27,041				
	③ 執行額	0	19,267				
	④ 執行率	0.0%	71.3%				
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.34 / 0.00	0.34 / 0.00	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	2,720	2,720	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	21,987	2,720	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	中学校施設環境改善事業(環境改善交付金・大規模改造事業)(繰越明許費分)	種類	教育費国庫補助金	6,234	22	頁
		中学校施設環境改善事業(防災・減災・国土強靱化緊急対策)(繰越明許費分)		教育債	12,800		

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	工事完成率	%	/	0	0	100	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	工事完成校数	校	/	0	0	1	4	累計9
	単位あたりコスト		/	/	19267.0	/		
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	「小中学校便所改修事業」は令和2年度をもって終了した。この事業では時代のニーズに見合った、和式便器を洋式便器に改修することを基本に行ってきたものである。したがって洋式便器が一つでも既存する便所においては手が付けられていないことから、今回令和3年度より「小・中学校施設環境改善事業」の一つとして老朽化した便所の改修に取り組むものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	学校施設の便所は老朽化が著しいものがほとんどであり、衛生器具、床、壁、天井、さらには給排水管の改修も同時に行うことで、長寿命化も図れ、トータルコストの縮減にも繋がるものと考えている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	R2年度をもって「小中学校便所改修事業」は終了した。これをもって普通教室に付属する児童用便所は一定の改修ができた。R3年度「小中学校環境改善事業」においては手つかずの児童用便所に加え、教職員用便所にも取り組みを行っている。教職員の働き方改革における環境改善には必要不可欠なものとしてその有効性も高いものと考えている。令和3年度は桃映中学校の便所改修工事1件である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>便所改修工事については、R3年度は桃映中学校管理棟における1、2、3階の便所改修をおこなった。このうち2階は教職員用である。改修後は、どの学校においても非常に喜んでもらえる改修工事の一つとなっている。引き続き、老朽化の進む既存の便所の環境改善が課題となっている。</li> <li>空調設備改修は、次年度以降で特別教室にエアコンを新設するべく、その工法等検討してきた。夏場、「移動式エアコン」を学校に配置し実証実験を重ねてきた。その結果、学校の教室には移動式エアコンでは効果が期待できないことが判明し、課題となった。</li> </ul>		
改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>便所改修工事において、中学校、1校/年での計画では、全中学校完了までに9年間を要することになり、老朽化が著しい学校においては早期な対応が望ましいと考えるが、他の事業との優先順位や予算確保、マンパワー等、課題や改善策を吟味する必要がある。</li> <li>特別教室空調設備改修は、R3年度に行った実証実験の結果から、工法的には従来型の天井埋め込み、もしくは天井吊り下げ式のパッケージ型が望ましいと考えられる。R5年度から設置工事を進めていくにあたり、電気容量が既存のキュービクルで対応できるのか等、実施設計の中で精査し令和5年度からの設置について繋げていく。</li> </ul>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	事務局一般管理事業(学校教育課)				事業コード	620131	
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実	
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412	
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄	
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	01 事務局費	
	会計	01 一般会計		決算付属資料	210 頁		
計画期間	開始年度	昭和63年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	R4現在の状況 継続中	
根拠法令等	教育基本法 学校教育法 学習指導要領						
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
関連事業							

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	円滑な学校運営及び学校教育の充実を図ることを目的として組織編制や教育内容等について適切な助言指導等を実施するために必要な事務、経費負担を行う。						
対象者	児童生徒及び教職員	対象者数	6,556	単位あたりコスト	1.9		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
委託先・実施主体等	(株)システムデイ						
事業概要 (箇条書き)	学校教育の推進に係る一般的事務経費(教職員の組織編制及び学校教育に関する指導や連絡調整に要する経費等)を負担した。						
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容				
	報酬	1,648	臨時職員報酬				
	職員手当等	110	臨時職員職員手当				
	需用費	668	消耗品、印刷製本費				
	役務費	890	郵送料、通信料				
	委託料・使用賃借料・負担金	822	学齢簿運用サポート保守業務、デジタル複合機賃借料、京都市町村保健師協議会負担金				

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,479	2,768	2,738	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	2,479	2,768	2,738						
予算財源内訳	① 一般財源	2,479	2,768	2,738					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	2,480	1,758						
	② 配当予算	4,959	4,526						
	③ 執行額	4,699	4,137						
	④ 執行率	94.8%	91.4%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.35 / 0.40	0.94 / 0.30	0.94 / 0.30	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	11,800	8,270	8,270	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	16,499	12,407	8,270	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	校(園)長会議開催回数	回	/	4 / 5	3 / 5	/ 5	5
	単位あたりコスト		/	1174.8	1379.0	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	適正な教職員組織(人事)管理及び学校運営を行うため、校園長会議を3回実施した。また、児童生徒の適正な管理を行うための学齢簿システムの保守管理を行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	校(園)長会議等の資料印刷について、両面印刷にするなど用紙の使用を抑えた。また、オンライン会議等の普及により旅費の支出を必要最低限に抑えた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	校園長会議を年間5回の予定にしていたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、3回の開催となったが、1回の会議内容をより充実させて実施することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	市立小中学校の状況に応じて、組織編制や教育内容等について適切な助言指導等を行いながら、また、新型コロナウイルス感染対策等の適切な対応を行いつつ、円滑な学校運営及び学校教育の充実を図ることができた。 (定性的評価) 一般的事務経費は、必要最小限に留める必要がある。		
改善策	会議等の開催にあたっては、資料を最小限に整理して配付するとともに内容によっては積極的にオンライン開催を検討し、経費節減に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト				事業コード	620116					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄					
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	GIGAスクール構想 「響」プラン・F		R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	教育基本法 学校教育法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	響プランFまなびの充実事業・響プランF心の充実事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	GIGAスクール構想の実現と新型コロナウイルス感染症拡大により、ICT環境の整備が進められ、より適切で効果的な教育の推進が求められている。AI(人工知能)を搭載した学びの個別最適化(個々の理解度に応じた学習)が可能となる学習教材(ソフトウェア)の活用を進め、すべての児童生徒の着実な学力の向上を図るとともに、福知山公立大学との連携による情報分析や研究結果を活かした「福知山ならではの」教育を目指す。										
対象者	市立学校児童生徒及び教員				対象者数	6,556		単位あたりコスト	1.3		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	福知山公立大学										
事業概要 (箇条書き)	・福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト検討会議の開催 ・福知山公立大学情報学部強みを生かし、ラーニング・アナリティクス(学習データに基づく分析)によって、授業や指導の改善、学校運営の見直しなど学校現場にフィードバックするしくみづくりの研究・提案等の監修業務を委託										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	需用費	339			消耗品						
	委託料	5,000			ラーニングイノベーション・プロジェクト監修業務						
	備品購入費	120			教材備品(USBマイク等)						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	0	5,715	5,155	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	64,777	0	0					
	③ 繰越予算	前年度繰越	0	0		0			
		次年度繰越	0	0		0			
		小計(①～③)	64,777	5,715		5,155			
予算財源内訳	① 一般財源	176	715	155					
	② 国支出金	59,601	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	5,000	5,000	5,000					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	64,777	5,715						
	③ 執行額	58,378	5,459						
	④ 執行率	90.1%	95.5%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.23 / 0.00	0.31 / 0.20	0.31 / 0.20	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,840	2,980	2,980	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	60,218	8,439	2,980	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト (きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	実績金額	2,386	決算付属資料	30	頁
		福知山ラーニングイノベーション・プロジェクト基金 繰入		基金繰入金	2,722	40			

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	小6全国学力状況調査(算数)・中3全国学力状況調査(数学)における低学力層の割合の減	%	/		調査実施なし / -	+1.6 / -0.4	/ -0.3
小6全国学力状況調査(算数)・中3全国学力状況調査(数学)における高学力層の割合の増	%	/		調査実施なし / -	+3.7 / -11.4	/ +0.3	令和5年度末までに+1%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	検討会議の開催	回	/	4 / 5	3 / 5	/ 5	5
	単位あたりコスト		/	14594.5	1819.7		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>文部科学省のGIGAスクール構想に基づく、令和の学びの「スタンダード」を推進する取組であり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による遠隔授業や在宅学習が可能な環境、体制整備を進めた。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>学習ソフトの導入は、福知山公立大情報学部と連携し、学習手法や利便性、容易性などを踏まえて選定したものであり、研究の円滑化や効率化を考慮したものとなっている。</p>	<input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>福知山公立大情報学部との連携によって、「ラーニングアナリティクス(学習分析)」を進め、その結果を学校現場にフィードバックして授業改善や学校運営に生かすことを目的として、その方策やしぐみについて検討を進めている。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>令和3年度においては、導入済の学習ソフトのデータログの分析・研究をすすめるため、福知山公立大学の学生が学習ソフトを試用し、そのデータを活用して、タブレットを用いた教科学習の状況を可視化するツールの開発やタブレットの使用を促進するアプリを開発するためのアンケート調査を実施した。</p> <p>これまでに得られたデータや調査結果を踏まえつつ、福知山公立大学との連携によるICTを活用した教育の充実に向けた研究を継続するとともに本市のGIGAスクール構想のグランドデザインの方向性を検討できた。</p> <p>【定性的評価】</p> <p>本事業については、全国学力状況調査(小学6年算数・中学3年数学)における低学力層の割合の減と高学力層の割合の増を成果指標としているが、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により教員の研修機会が減ったり、家庭学習への支援が充分でなかったことなどから、目標の達成には至らなかった。</p> <p>また、研究の実務に携わる公立大生の活動がしにくく、研究がやや遅延している。</p>		
改善策	<p>タブレット端末の使用頻度を高めるため、福知山公立大で研究を進めるアプリの試行導入準備を進める。</p> <p>また、学習内容の習熟のため、ICT機器を活用した学習ばかりでなく、従来からの学習方法もバランスよく活用しながら授業を進めることとし、福知山公立大においては蓄積される学習履歴の分析を進め、根拠に基づいた教育現場への提言や提案を求めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	響プランFまなびの充実事業				事業コード	620117						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和7年度	関連計画名	「響」プラン・F(学校教育内容充実推進プラン)		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	福知山ラーニングイノベーションプロジェクト											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	響プランF(福知山市立学校教育内容充実プラン)に基づく確かな学力を定着させる取組などにより、ふるさと福知山で育つ子どもたち一人一人が、学力を向上させ、自らの可能性をしっかりと伸ばし、年々変化、発展するこの時代・社会をたくましく生きていく力を育てる教育を推進する。											
対象者	市立学校児童・生徒			対象者数	6,043		単位あたりコスト	2.1				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	(株) IGS											
事業概要 (箇条書き)	・非認知能力評価テストの実施 ・基礎学力定着の取組 ・家庭教育支援の取組 ・公立大学生学習サポーターの配置 ・その他(学校教育の重点の発行、就学前体験等)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目		支出実績(R3)		主な業務内容							
	報償費		1,566		家庭教育支援及び公立大学生学習サポーターの取組謝礼							
	需用費		1,108		基礎学力定着の取組費用(消耗品)							
	役務費		37		公立大学生学習サポーター保険料							
	委託料		2,669		非認知能力評価テスト実施業務							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	0	5,818	6,424				
	② 補正予算	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
	小計(①～③)	0	5,818	6,424	予算編成時記入 (3次公表時)			
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0				
	② 国支出金	0	0	0				
	③ 府支出金	0	2,909	3,212				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	2,909	3,212				
決算情報	① 流充用額	0	0					
	② 配当予算	0	5,818					
	③ 執行額	0	5,380					
	④ 執行率	0.0%	92.5%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.76 / 0.60	0.76 / 0.60		0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	0	7,580	7,580		0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	12,960	7,580	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	響プランFまなびの充実事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金		実績金額	2,352	30
		響プランFまなびの充実事業基金繰入		基金繰入金		2,592	40	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	小6全国学力状況調査(算数)における低学力層の割合の減	%	/	/	+1.6 / -0.3	/ -0.3	令和5年度末までに-1%
	中3全国学力状況調査(数学)における高学力層の増	%	/	/	-11.4 / 0.3	/ 0.3	令和5年度末までに+1%
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	基礎学力定着・家庭教育支援の予算執行率	%	/	/	84.2 / 100	/ 100	100
	単位あたりコスト		/	/	63.9	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校教育内容の充実にに向けた「響」プラン・Fに基づき、非認知能力評価テストを実施し、子どもたち一人一人の状況や特性を把握することができている。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	基礎学力の取組みにおいて学校毎に予算配分を行い、効率的に物品を購入できた。また、ICT機器の導入により消耗品(用紙類)などの経費を削減できている。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	R3年度実施の全国学力調査による結果等を踏まえた評価であり、児童生徒の学力について、本市と全国平均と比較評価することは有効なことである。福知山公立大の学生を学習サポーターとして小学校へ配置することで、学習支援の効果に加え、児童が自分自身の将来像(大学への進学や良き先輩の人間性など)を考える契機となっている。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、公立大学生学習サポーターによる学習支援の回数が減るなどの影響があったものの、「響」プラン・Fに基づく、すべての子どもの学力の向上・充実を目指すために計画していた取組については、予定どおり実施でき、基礎学力の定着や子どもの可能性を伸ばすための教育機会を提供できた。 【定性的評価】 小学5年生と中学2年生で非認知能力テストを実施し、これまで可視化できなかった非認知能力の把握を進めることができた。今後は、非認知能力テストで得られた結果を踏まえた児童生徒の個々の能力と学力の分析などを進め、具体的な活用方策が検討課題となる。 また、新型コロナ感染症拡大の影響等により教職員の研修機会が減少したり、家庭学習による学力定着が進まなかった状況があり、学力向上に関する業績指標の達成には至らなかった。		
改善策	令和4年度は、福知山公立大との共同研究(監修委託)において、非認知能力テストでの結果の活用を検討する。 また、学習内容の習熟のため、ICTを活用した学習ばかりでなく、従来からの学習方法もバランスよく活用しながら授業を進めることとし、関連事業のラーニングイノベーション・プロジェクトの取組と併せて学力の向上に取組む。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	家庭科教育全国大会準備事業				事業コード	620124						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	212	頁
計画期間	開始年度	平成31年度	終了予定年度	令和4年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもの成長、学びを支えるためには、教員の新学習指導要領の主旨理解や授業力の向上が必要であり、国の教育課程研究指定校として家庭科教育の研究を進めてきた福知山市の家庭科教育の取組を全国大会においてアピールすることで、教員のさらなる指導力向上や学びを支える環境整備を進める。											
対象者	市立小学校教員、児童			対象者数	4,414		単位あたりコスト	0.8				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	・教育課程研究指定校の研究成果を生かした授業研究・課題への取組 ・指導力向上のため、講師を招へいた教員研修や先進地への視察の実施 ・宮城県(仙台市)で開催の全国大会にリモートでの参加 ・国立教育政策研究所・文部科学省主催の研修会へのリモートでの参加											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報償費	100		研修会講師謝礼								
	旅費	19		講師旅費								
	需用費	226		消耗品								
	使用料及び賃借料	14		複合機賃借料								
	負担金補助及び交付金	49		全国大会参加負担金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	2,051	1,956	1,873	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	2,051	1,956	1,873							
予算財源内訳	① 一般財源	1,591	978	1,873						
	② 国支出金	460	0	0						
	③ 府支出金	0	978	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	0	0	0						
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	2,051	1,956							
	③ 執行額	605	408							
	④ 執行率	29.5%	20.9%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.22 / 0.40	0.25 / 0.40	0.25 / 0.40	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	2,760	3,000	3,000	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,365	3,408	3,000	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	家庭科教育全国大会準備事業(きょうと地域連携交付金)		種類	教育費府補助金	実績金額	177	決算付属資料	30	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教員研修開催回数	回	5 / 4	3 / 4	9 / 4	/ 4	4
	単位あたりコスト		228.2	201.7	45.3		
	全国大会への参加者数	人	8 / 6	0 / 6	20 / 6	/ 10	10
	単位あたりコスト		142.6		20.4		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	R4年度全国大会の開催地の自治体として、大会の円滑な運営に向けて、会場との調整など着実な準備・調整を進めた。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	教育課程調査官及び府教委指導主事等の指導・助言を得ることにより、授業研究の推進等が効率よく実施できた。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	国研教育課程研究指定校の研究成果を生かしつつ、全国大会における公開授業に向けた研究主題に基づく授業づくりの準備を進めることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年度の「第59回全国小学校家庭科教育研究会 京都大会」に向けて、惇明小、昭和小は国立教育政策研究所の教育課程研究指定校として家庭科教育の研究を進め、この研究成果を踏まえ公開授業に向けた研究主題の設定や授業づくりを着実に進めることができる。 【定性的評価】 全国から約500名の教員等を迎える大会であり、主催者と市の協力のもと全国大会を円滑に運営し、市の取組みをアピールする必要がある。		
改善策	発表に向けた研究の推進、教職員の指導力向上の取組みに加え、大会運営事務局との連絡調整の機会を設け、的確、適切な大会開催準備・支援を進める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	AET配置活用事業				事業コード	620144					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄					
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	212・214	頁
計画期間	開始年度	平成1年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	子どもがグローバルな社会に対応できる人材に成長できるよう、AETの配置により、外国語活動によるコミュニケーション能力の向上、英語教育の充実を図る。										
対象者	市立学校児童生徒				対象者数	6,043		単位あたりコスト	5.2		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	(株)アルティアセントラル										
事業概要 (箇条書き)	主として中学校、小学校(5・6年生)を対象にAET(英語指導助手)を配置した。 1学級あたり、小学校には週1回(35授業)、中学校には週2回(70時間)以上の配置を目指す。 その他、幼稚園や適応指導教室「けやき広場」等の施設においても、積極的にAETを活用している。										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容						
	委託料	29,964			AET業務委託料						

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	30,000	29,964	29,964	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	30,000	29,964	29,964						
予算財源内訳	① 一般財源	15,000	14,982	14,982					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	15,000	14,982	14,982					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	30,000	29,964						
	③ 執行額	29,964	29,964						
	④ 執行率	99.9%	100.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.17 / 0.05	0.13 / 0.05	0.13 / 0.05	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,485	1,165	1,165	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	31,449	31,129	1,165	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	AET配置活用事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	実績金額	13,099	決算付属資料	30	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	AET配置人数	人	7 / 7	6 / 6	6 / 6	6 / 6	6
	単位あたりコスト		4340.8	4994.0	4994.0		
	AET配置校数	校	28 / 28	25 / 25	23 / 23	23	23
	単位あたりコスト		1085.2	1198.6	1302.8		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>中学校英語及び小学校外国語科・外国語活動においてAETを配置することで、児童生徒にとって外国語の習得や異文化に関する理解に有効な学習手段となった。</p>	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>プロポーザルによって選定した民間事業者への業務委託による配置を行っており、質の高いAETを配置することができた。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>すべての小中学校への配置に加え、適応指導教室等においても活動してもらい専門性を生かした外国語授業のサポートや教材の提供を受けることができた。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>AETの配置は、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力や異文化理解、語学力の向上に効果があるのみならず、授業のノウハウなど教員の資質向上にも資するものとなっている。                      小中学校で児童生徒がAETと接することは、国際化社会に対応できる人材を育成する契機として効果のある教育機会である。                      【定性的評価】</p> <p>市は、AETの労働派遣の業務委託を行っているところであるが、学校は、従来から派遣業者と市教委に同内容の報告書面を送付している。</p>		
改善策	<p>事務の簡素化、学校の事務負担軽減のため、一部の報告書面の送付について、委託業者経由で市教委に報告するよう見直す。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	学校図書館機能充実事業				事業コード	620169						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
計画期間	開始年度	平成26年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	第3次福知山市子どもの読書活動推進計画・学校図書館図書整備5か年計画		R4現在の状況	継続中			
根拠法令等	学校図書館法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学校図書館を児童・生徒、教職員が最大限自由に活用できるよう、また学級になじめない子どもの居場所となるよう、可能な限り開館する。また、司書教諭と連携・協力を密にすることにより、学校図書館がその機能を十分に発揮できるようにし、教職員の負担軽減を図る。											
対象者	市内小中学校児童生徒			対象者数	6,043		単位あたりコスト	0.7				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	市内小中学校のうち7校(惇明小・成仁小・桃映中・成和中・六人部中・川口中・大江中)を拠点校とし、複数校を兼務することにより学校司書を全校へ配置した。学校に在籍の司書教諭等の指示の下、学校図書館の環境整備、図書の貸し出し・返却業務等を行う。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬	3,486		学校司書報酬								
	職員手当等	236		学校司書手当								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	4,090	3,948	3,916	予算編成時記入 (3次公表時)					
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①～③)	4,090	3,948	3,916							
予算財源内訳	① 一般財源	0	0	0						
	② 国支出金	0	0	0						
	③ 府支出金	0	0	0						
	④ 地方債	0	0	0						
	⑤ その他特財	4,090	3,948	3,916						
決算情報	① 流充用額	0	0							
	② 配当予算	4,090	3,948							
	③ 執行額	3,890	3,723							
	④ 執行率	95.1%	94.3%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.20 / 0.00	0.06 / 0.05	0.06 / 0.05	0.00 / 0.00					
	② 概算人件費	1,600	605	605	0					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	5,490	4,328	605	0						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	学校図書館機能充実事業基金繰入		種類	基金繰入金	実績金額	3,627	決算付属資料	40	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	開館日数(授業日のうち)	%	75 / 100	86 / 100	92 / 100	/ 100	100
読書冊数(月1名あたり平均)	冊	14 / 25	15 / 25	10 / 25	/ 25	25	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	学校司書配置校	校	28 / 28	25 / 25	23 / 23	/ 23	23
	単位あたりコスト		149.7	155.6	161.9	/	
	単位あたりコスト						

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校図書館を活用した教育活動の充実のため、学校司書を配置した。 また、教職員の負担軽減にも寄与している。	<input type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	短時間勤務の職員を全校に配置するのではなく、経験やスキルを高めたり活かしたりできるよう1人あたり最大4校の兼務を配置している。配置される時間数が限られているため十分な取組ができていない。	<input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	学校司書を配置することで、図書室の開室日数の維持・増加に寄与している、また、学校図書館の機能を充実させたり、児童・生徒の興味関心を引く展示等で読書活動の推進に寄与している。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	学校司書を配置することで、学校図書館を児童・生徒・教職員が最大限に利用できるような環境を整え、その機能を十分に発揮できることに寄与している。 児童・生徒が関心を持つような取組を充実させることで、多くの書籍に触れる機会を増やし、学ぶ喜びを実感させ、生涯にわたる学びの土台づくりにつなげている。 更なる事業効果を得るためにも人員及び配置時間の充実を進める必要がある。		
改善策	学校司書の配置時間数を増やすよう予算の確保に努め、発達段階に応じた図書の選定や世の中の動向を踏まえた図書の紹介など児童生徒の読書への興味関心を引き出し、読書に触れる機会を増やしていく取組を行う。 市立図書館とも連携し、学校司書や司書教諭を対象とした研修への参加を促し、スキルアップを図る。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	指定校研究事業				事業コード	620194						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
計画期間	開始年度	平成23年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学力向上や生徒指導等さまざまな教育課題の解決のため、研究の核となる学校を指定し、研究やシステムづくりの活動を進めるとともに、その研究実践を全市的に波及させることで、児童生徒の学力や教職員の指導力の向上、地域社会との協働を推進するなど効果的な教育につなげていく。											
対象者	研究指定校の児童生徒及び教職員				対象者数	1,800		単位あたりコスト	2.3			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	京都府教育委員会からの委託を受け、研究指定校における研究・活動費用を負担した。 【府指定】・未来を拓く学校づくり(六人部中学校、六人部小学校)・「もう1つの教室」モデル構築事業(雀部小学校)・絆の作り手育成プログラム(夜久野学園) 【市指定】・教科担任制を活用した授業づくり(大正小学校・三和小学校)・児童生徒理解の深化と支援のあり方(雀部小学校)・認知・非認知能力(成和中学校)											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	旅費	14	視察旅費									
	需用費	670	消耗品									
	備品購入費	140	パーティション、教材備品									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,317	1,274	1,323	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	1,317	1,274	1,323						
予算財源内訳	① 一般財源	432	811	711					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	885	463	612					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 11	0						
	② 配当予算	1,306	1,274						
	③ 執行額	790	825						
	④ 執行率	60.5%	64.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.35 / 0.25	0.30 / 0.35	0.30 / 0.35	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	3,425	3,275	3,275	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,215	4,100	3,275	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	教育総務費委託金(指定校研究事業)	種類	教育費府委託金	実績金額	570	決算付属資料	32	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
				/	/	/	/
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	事業実施校数(府指定)	校	4 / 4	4 / 4	3 / 4	4 / 4	4
	単位あたりコスト		119.3	197.5	275.0		
	事業実施校数(市指定)	校	/	3 / 3	4 / 4	/ 7	7
	単位あたりコスト		79.5		206.3		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	府の指定するテーマに沿った教育課題について情報把握し、研究を進めることは、で教職員の意識をさらに高め、学校全体で意欲的に取組めて教育の資質向上につながった。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	府指定事業については府の委託事業のため、一般財源の負担を軽減して実施できた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	研究指定校で取り組んだ研究内容については、その研究成果を市内小中学校へ伝達する機会(研究発表会)を設けることで、各校の教職員にも情報共有を図ることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>研究指定による学校課題に応じた研究を進めることは、国や府が進める教育の動向を踏まえた活動につながり、効率的な学校運営や効果的な教育実践を進められることから教職員の意欲向上に資するものとなっている。</p> <p>研究指定校の取組みによって、当該校の子どもの学力向上だけでなく、研究成果を市内各校に情報共有し、その効果を波及させることができおり、より良い教育活動が行えている。</p> <p>【定性的評価】</p> <p>教員の若年化や新しい教育内容の追加等により、教員の指導力、教科指導の力量には、ばらつきがみられるようになってきている。</p>		
改善策	<p>可能な限り多くの学校に研究指定を行い、研究成果の伝達により市内全校にノウハウを蓄積させることで、教員の指導力を高めながら教育課題を整理しつつ、よりよい教育実践を進める。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	体育・文化振興事業				事業コード	620202						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	小・中学校の体育・文化部活動の大会の円滑な運営と部活動の充実と発展を図る。子どもたちに競技スポーツや音楽の特性に触れさせながら意欲・関心を高め、心身の健全な発達とあわせて、競技力・技術力等の向上を目的とし子どもたちの成長を支援する。											
対象者	児童、生徒			対象者数	6,043		単位あたりコスト	1.0				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	有限会社チームワーク											
事業概要 (箇条書き)	中学校の各種体育・文化部活動(音楽系)の大会運営補助及び体育大会会場使用料等の経費支出。 主として旧三町小中学校の各種大会参加時に要する経費。 スクールバス特別運行に要する運転業務委託料。 平成25年度より、中学校各種体育大会派遣事業と統合。 平成30年度より、学校芸術祭事業と統合。 令和3年度より、学校保健事業の体育連盟負担金を移管。											
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	委託料	1,424		スクールバス特別運転代行委託料								
	使用料及び賃借料	174		運動施設使用料(中学校部活動)								
	負担金補助及び交付金	2,915		福知山市立中学校部活動各種大会選手派遣事業費補助金、福知山市小・中学校体育連盟負担金、中丹中学校体育連盟負担金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	6,022	7,302	7,425	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	6,022	7,302	7,425						
予算財源内訳	① 一般財源	3,434	3,651	3,713					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	3,651	3,712					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	2,588	0	0					
決算情報	① 流充用額	△ 1,752	0						
	② 配当予算	4,270	7,302						
	③ 執行額	2,168	4,513						
	④ 執行率	50.8%	61.8%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.21 / 0.00	0.16 / 0.00	0.16 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,680	1,280	1,280	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	3,848	5,793	1,280	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	体育・文化振興事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	実績金額	1,969	決算付属資料	30	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	大会回数	回	5 / 5	2 / 5	3 / 5	/ 5	5
	近畿大会出場人数	人	14 / 2	実施なし / 2	44 / 2	/ 5	5
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	大会参加校数	校	28 / 28	25 / 25	23 / 23	/ 23	23
	単位あたりコスト		227.3	86.7	196.2		
	近畿大会出場校(団体)	校	0 / 1	実施なし / 1	5 / 1	/ 2	2
単位あたりコスト				902.6			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	子どもたちが各種大会へ参加する事は、子どもたちに競技スポーツや文化・芸術に触れさせながら意欲や関心を高め、学びあうために必要であり、その各種大会へ安全に参加するために、必要な交通手段を確保することができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	スクールバスの特別運行を利用する事でコスト削減につながっている。また、安全で効率的に子どもたちの移送ができています。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	子どもたちが各種大会に参加することにより、意欲・関心を高め、競技力や技術力の向上が図れる。また、他校の様子を知る事で、自分たちの姿を見つめる良い機会となったという感想もあり有効的である。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	児童・生徒が各種大会へ安全に参加できるよう交通手段を確保することは重要であり、保護者の負担軽減や基礎体力・技術向上の一環としている、各種大会出場を目標として努力する子どもたちへの支援及び大会現場での安全の確保ができた。 令和元年度より、福知山市中学校部活動各種大会選手派遣事業費補助金を文化部活動も対象にし補助する事ができた。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの大会が中止となった。 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行いながら、大会実施ができた。(市小学生陸上大会、市中学校春季大会、市新人総合体育大会は除く)「子どもたちが各種大会へ参加できる事に喜びを感じていた。」「参加した学校の子どもたち全員が一生懸命であり、学びあう場として必要である。」という感想もあった。 子ども達が体育大会へ参加するための交通手段(公共交通)の確保が難しい。特に市街地外の学校の児童・生徒の移動手段はスクールバスの利用が主となっており、今後もスクールバスの特別運行が増加し、費用が増大することが考えられる。		
改善策	予算措置し、スクールバス等を使用して、子ども達が各種大会へ安全に参加できるよう対応をしていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入 (3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	健康管理・学校保健事業			事業コード	620214						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄					
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
計画期間	開始年度	不明	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校保健安全法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	学校保健安全法に基づく健診を実施し、児童生徒や就学前児童の疾病予防並びに治療の指示を行うことで健康の保持増進を図り、また患者と接する機会が多い養護教諭の感染症予防を図ることで、子どもの学びと成長の土台づくりとする。										
対象者	児童・生徒・教職員	対象者数	6,556	単位あたりコスト	1.3						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	福知山市市民病院										
事業概要 (箇条書き)	・就学時健診(内科、歯科等)、むし歯予防にかかる指導・取組 ・養護教諭B型肝炎ワクチン接種等を実施 ・健診にかかる保健備品等の整備・整理 ・福知山市児童生徒結核対策委員会の実施(審査対象があった時に結核対策委員会の開催) ・中丹教職員結核審査会の出席(舞鶴・綾部・福知山の3市に勤める教職員が対象の審査会) ・学校保健の研究と普及向上を図り、児童・生徒及び教職員の健康で安全な学校生活を推進する。 ※令和3年度より、学校保健事業の保健衛生対策委員会報酬・小中学校保健会消耗品費・市バス運転代行委託料を移管 ※令和3年度より、子ども安全対策事業のAEDIに係る費用を移管 ※令和3年度より、事業名を「健康管理事業」から「健康管理・学校保健事業」に変更										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報償費	1,928	就学時健康診断 学校医・補助者等謝礼								
	需用費	1,002	各種衛生用・検診用消耗品								
	役務費	350	郵送料、学校不要薬品回収処分業務、オーディオメーター校正手数料								
	委託料	156	B型肝炎抗体確認検査等								
使用料及び賃借料・備品購入費・負担金補助及び交付金	901	タクシー移送料、資材移送用車両賃借業務、就学時健診会場使用料(331)・オーディオメーター(389)・中丹管内公立学校教職員結核審査委員会負担金、京都府学校保健主事会費、福知山市学校保健会補助金、京都府学校保健会負担金(181)									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	5,307	5,677	7,353	予算編成時記入 (3次公表時)
	② 補正予算	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	
小計(①~③)	5,307	5,677	7,353		
予算財源内訳	① 一般財源	4,999	5,385	7,061	
	② 国支出金	0	0	0	
	③ 府支出金	308	292	292	
	④ 地方債	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	1,914	△ 94		
	② 配当予算	7,221	5,583		
	③ 執行額	7,206	4,339		
	④ 執行率	99.8%	77.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱任職員)	0.35 / 0.35	0.40 / 0.33	0.40 / 0.33	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	3,675	4,025	4,025	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	10,881	8,364	4,025	0	
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	種別	実績金額	決算付属資料	頁
	フッ素による子どものむし歯予防事業	教育費府補助金	321	30	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	B型肝炎免疫率(養護教諭)	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
	就学時健康診断受診率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	就学時健康診断実施回数	回	16 / 16	16 / 16	14 / 14	/ 14	14
	単位あたりコスト		311.7	450.4	309.9		
	福知山市学校保健会 実施回数	回	2 / 1	2 / 2	2 / 2	/ 2	1
	単位あたりコスト		4987.8	7206.0	2169.5		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校保健安全法に基づく就学時健診やむし歯予防にかかる指導・取組、養護教諭へのB型肝炎ワクチン接種等を実施し、児童生徒や教職員の疾病予防に寄与することで、市民の健康保持増進に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	診療保険点数に基づく健(検)診単価の設定により、適切な健診コストの維持に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	コロナ禍での実施のために、就学時健康診断の分散実施などの工夫を行うことで、受診率の維持向上に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	養護教諭のB型肝炎免疫率、就学時健診受診率ともに100%となっており、適切な事業遂行がなされている。コロナ禍における就学時健康診断で混雑・密になる状況避けなければならない、工夫が必要である。		
改善策	受付方法の変更、日程・時間の分割、動線の工夫等により、人の集まりや滞留による混雑を解消する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	労働安全衛生管理体制整備事業				事業コード	620227						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	214	頁
計画期間	開始年度	平成21年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	教職員の健康管理を目的として、教職員が意欲と使命感を持って教育活動に専念できる適正な労働環境の確保に資するものであり、一人ひとりが安全衛生を自分自身の問題として意識し、働きやすい環境づくり体制を整える。											
対象者	教職員等			対象者数	686			単位あたりコスト	3.2			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等												
事業概要 (箇条書き)	①月100時間以上又は80時間以上が3か月連続して時間外勤務を行った教職員やメンタル面での指導が必要な教職員に医師による面接指導 ②月100時間以上の時間外勤務教職員のある学校の管理職等と医師等との面談指導 (①②の設定日:5月より必要に応じ月1回予定) ③各学校の衛生推進者を中心に連携を図り、各学校における労働環境衛生整備について働きかけていく(新任教頭へ衛生推進管理者講習会受講の案内とその費用確保) ※令和3年度より、小学校安全管理事業及び中学校安全管理事業の衛生推進者養成に係る費用を移管した。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)			主な業務内容							
	報酬	100			労働安全衛生管理体制整備事業医師面談報酬							
	需用費	4			安全衛生推進者養成講習テキスト代							
	負担金補助及び交付金	40			安全衛生推進者養成講習受講料							

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	367	429	421					
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	367	429	421	予算編成時記入 (3次公表時)					
予算財源内訳	① 一般財源	367	429		421				
	② 国支出金	0	0		0				
	③ 府支出金	0	0		0				
	④ 地方債	0	0		0				
	⑤ その他特財	0	0		0				
決算情報	① 流充用額	△ 42	0						
	② 配当予算	325	429						
	③ 執行額	100	144						
	④ 執行率	30.8%	33.6%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.15 / 0.00	0.26 / 0.00	0.26 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,200	2,080	2,080	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,300	2,224	2,080	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	月80時間以上時間外勤務者の全体に占める割合(小学校・年間)	%		12.7 / 20	4.2 / 15	2.5 / 15	/ 15
月80時間以上時間外勤務の全体に占める割合(中学校・年間)	%		16.6 / 20	5.6 / 15	4.5 / 15	/ 15	15
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	面接医との相談回数	回	13 / 12	3 / 12	4 / 11	/ 11	12
	単位あたりコスト		26.9	33.3	36.0		
	相談人数	人	30 / 30	9 / 30	12 / 25	/ 25	30
	単位あたりコスト		11.7	11.1	12.0		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	<p>教職員の働き方改革は喫緊の課題であり、今までの教職員の働き方を見直し、自らの資質を磨きつつ、子どもたちに対し効果的な教育活動を継続して行うために、教職員自身の心身の健康管理は必要不可欠なことである。本人や管理職への面接と指導が月2回の相談日の設定だけでは、十分な支援ができていないため、日頃から各学校の衛生推進者(教頭)と連携して対応している。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	<p>H30年9月より勤怠管理システムを導入し、スムーズに効率よく本人や衛生推進者等が勤務時間や超過勤務等の実態把握ができるようになった。</p>	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言やまん延防止措置重点期間延長等があり、学校行事や部活動等の制限が多く、長時間勤務教職員数が減った状況で、面談対象者も少なく、面接医との相談回数も減少した。</p>	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>教職員の負担軽減対策としては、ノ一部活デーや早退勤デー、夜間の電話制限、学校行事の見直し、教職員や支援員の配置などの人的な対策、部活動指導員、地域や保護者の理解、教職員の意識改革、校務支援システムなど総合的に推進することが重要であり、学校教育課全体で支援体制を構築し、学校と連携し対応を始めている。コロナ禍において中止をしていた「市立学校教職員の勤務実態に関する検討会」を開催し、今後もさらに時間外勤務の縮減や業務負担軽減に向けた対策を進めていきたい。また、新型コロナ感染症拡大の第6波を乗り越え、学校教育活動が正常化するなか、コロナ前の状況に戻すものと見直しや改善を必要とするものを検討し、働き方改革の視点も踏まえた見直しを行う必要があると考えている。</p>		
改善策	<p>教職員の業務の増加、多忙化を極める中で、個別の相談等だけでは心身の健康管理は十分できない。正確な時間外勤務の実態把握、人の配置を含めた教職員の行う事務の明確化、地域人材を含めた部活動指導の負担軽減、ノ一部活デーや早退勤デーの徹底、教職員の働き方の意識改革など総合的に取り組んでいく。また、フォロー体制整備について教職員服務管理担当者とも検討していく必要がある。時間外勤務の多い教職員の医師等面接を必須事項として位置づけ、医師より学校に対して指導・助言を行い、支援していく(ただし、実情に応じて面接医依頼を月1回程度で依頼する)。また、新規安全衛生推進者(学校での安全衛生や働きやすい職場環境づくりの主導者)となる新任教頭に対しての研修機会の確保やフォローをしていく。</p> <p>令和4年度より、教職員のストレスチェックを導入予定。                  コロナ禍において中止をしていた「市立学校教職員の勤務実態に関する検討会」を開催し、今後もさらに時間外勤務の縮減や業務負担軽減に向けた対策を進めていく。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		<p>予算編成に記入(3次公表時)</p>

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	心の居場所づくり推進事業					事業コード	620229					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	214・216	頁
計画期間	開始年度	平成30年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	不登校対策推進事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	不登校対策として、適応指導や就学前、学齢期の子どもの対象とした教育相談などを通して、困難を抱える家庭や児童生徒を対象に多様な指導・支援の取組を実施し、学校適応や社会的自立に向けたの力の育成を支援する。											
対象者	市内児童・生徒、保護者			対象者数	6,800		単位あたりコスト	3.9				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	京都ユニオンサービス(株)											
事業概要 (箇条書き)	【適応指導教室】 不登校児童生徒の集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、生活習慣の改善等のための相談・適応指導や学習活動・体験活動を行うことにより、学校復帰や社会的自立を支援した。 【教育相談室】 児童・生徒や保護者を対象に教育相談員による教育相談、臨床心理士によるカウンセリングを行った。 【子どもよりそい支援員・心の居場所サポーター】 不登校傾向児童への登校支援、学校で待受けや教室への入室サポートなどを行い、また家庭と学校をつないだ。											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	報酬	6,138		臨時職員報酬								
	職員手当等	405		臨時職員職員手当								
	報償費	3,164		臨床心理士謝礼								
	旅費	452		臨床心理士旅費								
需用費・役務費・委託料・使用賃借料・負担金	669		消耗品、通信料、運転代行業務、複写機使用料、全国連絡協議会会費									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	11,732	11,473	14,181	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①~③)	11,732	11,473	14,181						
予算財源内訳	① 一般財源	5,869	5,527	7,091					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	5,863	5,946	7,090					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	54	47						
	② 配当予算	11,786	11,520						
	③ 執行額	10,393	10,828						
	④ 執行率	88.2%	94.0%						
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.45 / 5.25	0.37 / 5.00	0.37 / 5.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	16,725	15,460	15,460	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	27,118	26,288	15,460	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	心の居場所づくり推進事業(きょうと地域連携交付金)	種類	教育費府補助金	実績金額	4,718	決算付属資料	30	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	不登校児童生徒数(小中計)	人	139	140 / 100	174 / 100	/ 100	100
	不登校に対する入級率(小中計)	%	17.3	16.4 / 25	13.8 / 25	/ 25	25
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教育相談件数	回	1220	1070 / 1200	1220 / 1200	/ 1200	1200
	単位あたりコスト		7.3	9.7	8.9		
	けやき広場入級者数	人	24	23 / 25	24 / 25	/ 25	25
	単位あたりコスト		373.3	451.9	451.2		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	不登校や不登校傾向にある児童生徒や保護者等に対して、専門的な見地から多角的なアプローチを行い、社会的自立に向けた支援が必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	学校をはじめ、福祉や教育の関係機関等との連携により、課題把握、対応検討、復帰支援等を効果的に実施できた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	不登校や不登校傾向にある児童生徒や保護者等に対して、専門の見地からの助言や適応指導教室へのつながりをはじめ、学校等の関係機関との連携により効果的な支援ができています。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	<p>不登校に関する事業として、困り感を抱える児童生徒やその保護者に対して、課題解決に向けたアプローチを多角的に行い、学校適応・社会適応を促す相談支援や多様な学びや体験の機会を提供するなど、社会的自立に向けた指導・援助が実施できている。 【定性的評価】</p> <p>不登校や不登校傾向にある児童生徒が増加し、心理的な要因のほか発達の課題等、児童生徒や保護者が学校外の専門的機関へ支援を求める件数が増加している。</p>		
改善策	<p>不登校の原因が家庭状況による場合も多いことから、福祉部局との連携によるアウトリーチ型の寄り添い支援(不登校支援連携チーム)の取組みと併せて、有識者会議における意見聴取を重ねながら、相談支援体制のあり方を検討する。</p>		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位: 千円)

## I 事業属性

事業名	不登校対策推進事業			事業コード	620275						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち		政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり		施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課		所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	216	頁
計画期間	開始年度	令和3年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中	
根拠法令等	教育機会確保法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	心の居場所づくり推進事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	不登校児童・生徒の社会的自立を支援するための総合的な支援策、多様な学びの方策の検討を行い、施策実施に向けての準備を行う。										
対象者	市立学校児童・生徒			対象者数	6,043		単位あたりコスト	1.4			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	・有識者会議の開催・施策の検討 ・先進地視察研修 ・担当専門職(社会福祉士)の雇用・人材育成										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	46	有識者会議委員報酬								
	報償費	50	アドバイザー謝礼								
	旅費	382	視察旅費、委員実費弁償								
	需用費	14	消耗品								
	役務費	1	郵送料								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	0	660	4,251						
	② 補正予算	0	0	0						
	③ 繰越予算	0	0	0						
	前年度繰越	0	0	0						
	次年度繰越	0	0	0						
小計(①~③)	0	660	4,251	予算編成時記入 (3次公表時)						
予算財源内訳	① 一般財源	0	330		1,201					
	② 国支出金	0	330		850					
	③ 府支出金	0	0		0					
	④ 地方債	0	0		2,200					
	⑤ その他特財	0	0		0					
決算情報	① 流充用額	0	137							
	② 配当予算	0	797							
	③ 執行額	0	492							
	④ 執行率	0.0%	61.7%							
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.33 / 2.10		0.33 / 2.10					
	② 概算人件費	0	7,890		7,890					
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	8,382	7,890		0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	生活困窮者自立支援事業等補助金(学習・生活支援事業)	種類		教育費府補助金	実績金額	210	決算付属資料	20	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
		不登校児童生徒のうち関係機関の相談・支援につながった割合	%	/	/	63.8 / 55	/ 65
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	有識者会議開催回数	回	/	/	2 / 3	/ 3	3
	単位あたりコスト				246.0		
	専門職(社会福祉士)の相談・訪問活動延べ回数	回	/	/	467 / 300	/ 500	500
	単位あたりコスト				1.1		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	不登校や不登校傾向にある児童生徒が増加している状況にあって、教育機会確保法の制定等、児童生徒の多様な学びの場や居場所が求められていることから、その方策を検討し、施策を推進していく必要がある。R3年度においては、福祉と教育の連携による不登校支援連携チームを立ち上げて、不登校の実態把握と児童生徒に必要な支援の検討、対応ができた。	<input type="checkbox"/> 高い <input checked="" type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	先進地視察や有識者会議の実施にあたり、一部をオンライン対応とすることで経費の節減につながった。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	先進地視察や有識者会議を実施し、先進事例やさまざまな情報や意見を得る中で効果的な施策の方向性について検討を進めることができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	担当専門職(社会福祉士)の雇用により、福祉と教育の連携による不登校連携支援チーム(社会福祉士・教員OB等)を発足させ、相談対応や寄り添い支援、学校訪問などを行い、情報共有を図りながら、目の前の不登校児童生徒、保護者の支援の強化が図れた。また、不登校支援、多様な学びに関する庁内検討会議やフリースクール等の先進地視察、有識者会議の開催等により、不登校支援等に関する手法を検討することができた。 【定性的評価】		
改善策	R3においては不登校連携支援チームの取組など、目の前の不登校児童生徒の支援や状況把握等のソフト面を中心に推進してきたが、今後は、これらの取組みに加え、庁内検討会議や有識者の意見を踏まえつつ、多様な学びや施設のあり方など具体的な計画の検討・準備をさらに進めていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(学校健診)				事業コード	620276						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄						
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費		会計	01 一般会計	決算付属資料	216	頁
計画期間	開始年度	令和2年度	終了予定年度	令和3年度	関連計画名	学校等の感染症対策等支援			R4現在の状況	廃止/休止		
根拠法令等	学校保健安全法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	新型コロナウイルス感染症予防対策として、学校保健安全法に定められている定期健診及び就学時健診に必要な消耗品やその他感染予防に必要な消耗品を購入し、児童・生徒の学びを保障する体制の整備を行うことで、子どもの学びと成長の土台づくりとする。											
対象者	児童・生徒・教職員			対象者数	6,556		単位あたりコスト	0.2				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	各小中学校											
事業概要 (箇条書き)	消毒用アルコール・あわハンドソープ・ポリ手袋・フェイスシールド・アイシールド等購入											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)		主な業務内容								
	需用費	932		各種衛生用・検診用消耗品								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)		R3(評価年度)		R4(本年度)		R5(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	0		0		0		予算編成時記入 (3次公表時)	
	② 補正予算	932		0		0			
	③ 繰越予算	△ 932		932		0			
	前年度繰越	0		932		0			
	次年度繰越	△ 932		0		0			
小計(①~③)	0		932		0				
予算財源内訳	① 一般財源	0		466		0			
	② 国支出金	0		466		0			
	③ 府支出金	0		0		0			
	④ 地方債	0		0		0			
	⑤ その他特財	0		0		0			
決算情報	① 流充用額	0		0					
	② 配当予算	0		932					
	③ 執行額	0		932					
	④ 執行率	0.0%		100.0%					
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.00 / 0.00	0.07 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	0		560		0		0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0		1,492		0		0		
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	学校保健特別対策事業費補助金(学校健診)(繰越分)	種類	教育費国庫補助金	実績金額	465	決算付属資料	22	頁
		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策事業(学校健診)(地方創生臨時交付金)(繰越分)		教育費国庫補助金		447		22	

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	学校健診実施率	%	/	/	/	100 / 100	/
就学時健康診断実施率	%	/	/	/	100 / 100	/	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	各種物資配分校数	校	/	/	23 / 23	/	23
	単位あたりコスト		/	/	40.5	/	
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	学校保健安全法に基づく定期健診や就学時健診を実施し、児童生徒や教職員の疾病予防に寄与することで、市民の健康保持増進に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	学校教育課で必要数を調達し各校に振り分けることで、コストの削減に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	在校生の人数に応じて過不足なく物資を配分することで健診でのコロナ拡散を防止、健診実施率の維持向上に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	定期健診実施率、就学時健診受診率ともに100%となっており、適切な事業遂行がなされている。学校長の判断で必要な物品をより迅速に調達する体制の模索が課題である。		
改善策	学校教育課による調達ではなく各学校長による調達とし、より迅速に必要なものを調達できる体制を構築する(3線4事業)。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	小学校児童教職員健康管理事業				事業コード	620241					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄					
会計情報	款	10 教育費	項	02 小学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	218	頁
計画期間	開始年度	昭和33年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校保健安全法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	中学校生徒教職員健康管理事業・幼稚園児教職員健康管理事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学校保健安全法第13条・第15条に基づいて児童、教職員の健診等を実施し、疾病の早期発見・事後指導につなげ、児童・教職員の健康管理を行うことで、子どもの学びと成長の土台づくりとする。										
対象者	児童、教職員				対象者数	4,414		単位あたりコスト	9.2		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	京都微生物研究所										
事業概要 (箇条書き)	学校医等による健康診断報酬 健康診断に係る検査経費等 (児童)眼科、耳鼻科、内科、心臓病、歯科検診、尿検査、(教職員)定期健康診断 ※R3年度より、事業名を「小学校児童教職員健康管理事業」から「小学校児童教職員健康管理事業」へ名称変更										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	19,108	小学校医(薬剤師)等報酬								
	報償費	7,720	定期健康診断(耳鼻科・眼科検診)謝礼								
	需用費	204	各種衛生用品、新型コロナ対策用品(石鹸)等								
	役務費	7,793	全国市長会学校災害賠償補償保険料分担金、日本スポーツ振興センター災害共済掛金(小学校)、尿検査、心臓検診								
	委託料・使用料及び賃借料	1,807	教職員定期健康診断委託業務(1,540)、タクシー移送費(267)								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	34,658	37,776	37,687	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0			
小計(①～③)	34,658	37,776	37,687				
予算財源内訳	① 一般財源	34,658	36,082	36,046			
	② 国支出金	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	1,694	1,641			
決算情報	① 流充用額	45	0				
	② 配当予算	34,703	37,776				
	③ 執行額	34,031	36,631				
	④ 執行率	98.1%	97.0%				
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.31 / 0.30	0.39 / 0.33	0.39 / 0.33	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	3,230	3,945	3,945	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	37,261	40,576	3,945	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	日本スポーツ振興センター災害共済負担金(小学校)	種類	教育費負担金	実績金額	1,648	8
		日本スポーツ振興センター災害共済金返還金(小学校)		雑入		30	46
						決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教職員定期健康診断受診率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
児童学校健診(内科結核等)受診率	%	100 / 100	99.3 / 100	99.9 / 100	99.9 / 100	/ 100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教職員定期健康診断受診人数	人	374 / 374	349 / 349	334 / 334	/ 334	334
	単位あたりコスト		94.8	97.5	109.7		
	児童学校健診(内科結核等)受診人数	人	4161 / 4162	4109 / 4138	4095 / 4099	/ 4055	4162
単位あたりコスト		8.5	8.3	8.9			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	法律に基づいて生徒・教職員の定期健(検)診を実施し、疾病の早期発見・事後指導に寄与することで、市民の健康増進に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	診療保険点数に基づく健(検)診単価の設定により、適切な健診コストの維持に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	コロナ禍中の実施であるため、以前よりも柔軟なスケジュールによる健(検)診実施を学校に認めるなど、様々な工夫を行うことで、受診率の維持向上に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	教職員健診未受診者は人間ドック等を勧め、合わせて100%となっている。児童についても、受診できないやむを得ない事情を除いて、ほぼ100%に近い受診率であるため、適切な事業遂行がなされていると考える。 急速に再拡大を繰り返すコロナ禍の中で健(検)診実施率を維持していくことが課題である。		
改善策	新型コロナウイルス感染症により、キャンセルせざるを得ない健(検)診のリスケジュールについては、学校が直接調整を行うなどの工夫により、健(検)診率の維持向上に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--



# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中学校生徒教職員健康管理事業				事業コード	620208					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄					
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	01 学校管理費	会計	01 一般会計	決算付属資料	220	頁
計画期間	開始年度	昭和33年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校保健安全法										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	小学校児童教職員健康管理事業・幼稚園教職員健康管理事業										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	学校保健安全法第13条・第15条に基づいて生徒、教職員の健診等を実施し、疾病の早期発見・事後指導につなげ、生徒・教職員の健康管理を行うことで、子どもの学びと成長の土台づくりとする。										
対象者	生徒、教職員				対象者数	2,142		単位あたりコスト	11.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等	京都微生物研究所										
事業概要 (箇条書き)	学校医等による健康診断報酬 健康診断に係る検査経費等 (生徒)眼科、耳鼻科、内科、心臓病、歯科検診、尿検査、(教職員)定期健康診断 ※R3年度より、全国市長会学校安全災害保険料を移管 ※R3年度より、日本スポーツ振興センター災害共済負担金(中学校)を統合										
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	報酬	10,196	中学校医(薬剤師)等報酬								
	報償費	3,568	定期健康診断(耳鼻科・眼科検診)謝礼								
	需用費	166	各種衛生用品、新型コロナ対策用品(石鹸)等								
	役務費	3,726	全国市長会学校災害賠償補償保険料分担金、日本スポーツ振興センター災害共済掛金(中学校)、尿検査、心臓検診								
委託料・使用料及び賃借料	1,403	教職員定期健康診断委託業務(1,264)、タクシー移送費(139)									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	17,822	19,761	20,044	予算編成時記入 (3次公表時)		
	② 補正予算	0	0	0			
	③ 繰越予算	0	0	0			
	前年度繰越	0	0	0			
	次年度繰越	0	0	0			
小計(①～③)	17,822	19,761	20,044				
予算財源内訳	① 一般財源	17,822	18,972	19,257			
	② 国支出金	0	0	0			
	③ 府支出金	0	0	0			
	④ 地方債	0	0	0			
	⑤ その他特財	0	789	787			
決算情報	① 流充用額	11	0				
	② 配当予算	17,833	19,761				
	③ 執行額	17,175	19,060				
	④ 執行率	96.3%	96.5%				
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.31 / 0.30	0.46 / 0.33	0.46 / 0.33	0.00 / 0.00		
	② 概算人件費	3,230	4,505	4,505	0		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	20,405	23,565	4,505	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	日本スポーツ振興センター災害共済負担金(中学校)	種類	教育費負担金	実績金額	751	8
		日本スポーツ振興センター災害共済金返還金(中学校)		雑入		18	46
						決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教職員定期健康診断受診率	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100 / 100	100
学校健診(内科結核等)受診率	%	100 / 100	96.23 / 100	99.8 / 100	99.8 / 100	100	100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	教職員定期健康診断受診人数	人	217 / 217	215 / 215	217 / 217	217	217
	単位あたりコスト		79.2	79.9	87.8		
	学校健診(内科結核等)受診人数	人	2016 / 2016	1916 / 1991	1945 / 1948	1954	2016
単位あたりコスト		8.5	9.0	9.8			

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	法律に基づいて生徒・教職員の定期健(検)診を実施し、疾病の早期発見・事後指導に寄与することで、市民の健康増進に努めた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	診療保険点数に基づく健(検)診単価の設定により、適切な健診コストの維持に努めた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	コロナ禍中の実施であるため、以前よりも柔軟なスケジュールによる健(検)診実施を学校に認めるなど、様々な工夫を行うことで、受診率の維持向上に努めた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	教職員健診未受診者は人間ドック等を勧め、合わせて100%となっている。児童についても、受診できないやむを得ない事情を除いて、ほぼ100%に近い受診率であるため、適切な事業遂行がなされていると考える。 急速に再拡大を繰り返すコロナ禍の中で健(検)診実施率を維持していくことが課題である。		
改善策	新型コロナウイルス感染症により、キャンセルせざるを得ない健(検)診のリスケジュールについては、学校が直接調整を行うなどの工夫により、健(検)診率の維持向上に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
担当課の事業の見直し及び予算要求方針		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	中学校自転車通学安全対策事業				事業コード	620271					
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実					
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412					
事業担当	所属	60020000 教育委員会 学校教育課			所属長	八瀬 正雄					
会計情報	款	10 教育費	項	03 中学校費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算付属資料	224	頁
計画期間	開始年度	昭和53年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名			R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	自転車通学生徒交通安全用ヘルメット購入費補助金交付要綱										
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
関連事業	中学校・高等学校等通学支援事業(子ども政策室)										

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	ヘルメットの購入費を一部補助することにより、通学手段として自転車を利用する生徒の安全管理を行うことで、子どもの学びと成長の土台づくりとする。										
対象者	自転車通学の生徒	対象者数	84	単位あたりコスト	14.8						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )										
委託先・実施主体等											
事業概要 (箇条書き)	自転車を通学手段とする生徒の事故防止のためのヘルメット購入費の一部補助(1,500円/1人)を行った。										
主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容								
	負担金補助及び交付金	126	自転車通学生徒交通安全用ヘルメット購入費補助金								

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	150	150	150	予算編成時記入 (3次公表時)				
	② 補正予算	0	0	0					
	③ 繰越予算	0	0	0					
	前年度繰越	0	0	0					
	次年度繰越	0	0	0					
小計(①～③)	150	150	150						
予算財源内訳	① 一般財源	150	150	150					
	② 国支出金	0	0	0					
	③ 府支出金	0	0	0					
	④ 地方債	0	0	0					
	⑤ その他特財	0	0	0					
決算情報	① 流充用額	0	0						
	② 配当予算	150	150						
	③ 執行額	110	126						
	④ 執行率	73.3%	84.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	0.13 / 0.00	0.14 / 0.00	0.14 / 0.00	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	1,040	1,120	1,120	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	1,150	1,246	1,120	0					
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ヘルメット助成該当校ヘルメット着用率	%		100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標
	ヘルメット助成人数	人	86 / 117	73 / 117	84 / 100	/ 100	110
	単位あたりコスト		1.5	1.5	1.5		
	単位あたりコスト		/	/	/	/	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	ヘルメット購入補助を行うことで、事故・けがを防止するヘルメットの着用率を維持・向上を図ることができた。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	申請事務手続きの改善により、学校現場の負担を軽減することができた。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	購入補助を行うことでヘルメット着用率の維持・向上に寄与した。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	自転車通学する生徒のヘルメット購入費の一部を負担することで、ヘルメットの使用を促進し、交通事故から身体を保護して通学の安全を確保することができる。そして、保護者の負担を軽減すると共に、通学の利便性を図ることが可能となる。 警察庁統計により、自転車乗用中の死亡事故のうち、約6割が頭部への致命傷を負っており、また自転車乗用中に事故にあったとき、ヘルメットを着用していなかった場合の致死率は、着用していた場合の約2.4倍であることが明らかとなっており、自転車に乗るときにヘルメット着用を促すことは非常に重要であるため、補助の有効性は高い。		
改善策	継続して啓発に努めたい。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--

# 福知山市 令和4年度事務事業評価シート

(単位：千円)

## I 事業属性

事業名	学校給食管理運営事業				事業コード	620517						
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち			政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施策名	2 子どもの学びと成長の土台づくり			施策コード	412						
事業担当	所属	60060000 教育委員会 学校給食センター			所属長	村瀬 勝子						
会計情報	款	10 教育費	項	06 保健体育費	目	03 学校給食費		会計	01 一般会計	決算付属資料	244	頁
計画期間	開始年度	平成25年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名				R4現在の状況	継続中		
根拠法令等	学校給食法											
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
関連事業	学校給食センター設備改修事業											

## II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて事業が果たす役割)	市内公立小中学校の児童生徒へ安心安全な学校給食を提供することにより、心身ともに健やかな子どもたちの成長に寄与する。 【小学校】14校 惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斉・遷喬・上豊富・六人部・上川口・成仁・三和・夜久野・大江 【中学校】9校 桃映・南陵・成和・六人部・川口・日新・三和・夜久野・大江											
対象者	市立小・中学校の児童・生徒及び教職員等				対象者数	6,647		単位あたりコスト	34.8			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )											
委託先・実施主体等	調理等委託: シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 献立システム: 株式会社堀通信											
事業概要 (箇条書き)	令和3年度 年間実施回数190回/190回 対象校 小学校14校、中学校9校 計23校 食/年間、基礎数 6,647人(5月1日)											
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R3)	主な業務内容									
	需用費	56,755	光熱水費、修繕料、印刷製本費等									
	役員費	907	通信運搬費、保険料、手数料									
	委託料	155,077	給食調理等業務委託料、献立システム再設定等業務・保守業務									
	使用料及び賃借料	273	複合機賃借料									
	負担金補助及び交付金ほか	4,632	学校給食費免除負担金、ノート型端末、給食配送車自動車重量税、臨時職員報酬・期末手当ほか									

## III 予算執行状況

区分	R2(評価前年度)	R3(評価年度)	R4(本年度)	R5(要求年度)				
予算情報	① 当初予算	233,343	214,152	212,255	予算編成時記入 (3次公表時)			
	② 補正予算	4,562	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0				
小計(①~③)	237,905	214,152	212,255					
予算財源内訳	① 一般財源	232,855	213,625	211,728				
	② 国支出金	1,141	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0				
	⑤ その他特財	3,909	527	527				
決算情報	① 流充用額	2,185	4,164					
	② 配当予算	240,090	218,316					
	③ 執行額	238,455	217,644					
	④ 執行率	99.3%	99.7%					
人概 工算	① 従事職員数 (正職員 / 非常勤嘱託職員)	1.60 / 2.00	1.42 / 1.00	1.42 / 1.00	0.00 / 0.00			
	② 概算人件費	17,800	13,860	13,860	0			
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	256,255	231,504	13,860	0				
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	旧大江学校給食センター配送車売払	種類	物品売払収入	実績金額	1,127	34	頁
		献立予定表広告収入(学校給食センター)		雑入		181	決算付属資料	44
		公用車広告収入(学校給食センター)		雑入		108		44

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	給食実施数/給食実施予定数	回	174 / 187	180 / 186	190 / 190	/	190	190
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R1	R2	R3	R4	最終目標	
	実施食数/5月基礎数×予定回数	食	1109374 / 1277958	1140061 / 1259778	1,262,930 / 1,262,930	/	1,255,900	1,255,900
	単位あたりコスト		0.2	0.2	0.2			
	単位あたりコスト		/	/	/	/		

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項目	評価の観点	評価の観点に寄与した取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	家庭環境の多様化等により学校給食の重要性が高まっている中、調理配送業務を民間業者に委託することにより民間のノウハウを活用し、安心安全な学校給食を安定的に提供することができた。学校給食法第4条により、学校設置者は学校給食が実施されるように努めなければならないため、必要な事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 高い
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	学校給食の調理配送及び施設や設備の法定点検を含めた業務委託契約を締結しているため、異常箇所等を早く発見することができ、スムーズに修繕を行うことができた。予防的な修繕を行うことにより、支出を抑えコストの削減を図ることができた。プレハブ冷凍庫(魚肉用)の修繕を行い、業務の内容から随意契約を締結したが、無駄な修繕は行わず、相手方と交渉して必要最低限の支出とした。	<input type="checkbox"/> やや高い <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	衛生的な調理施設の管理と、適正な調理機器の使用により安心安全な学校給食の調理配送を行うことができた。またアレルギー対応食に関する調理も一元的にセンターで実施することにより、安全で確実に提供することができた。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	調理配送委託業者と連携し、民間のノウハウや柔軟性を取り入れ、円滑な運営が行えた。アレルギー対応食(卵除去食)について安全に実施できた。また、地場産物を使用することにより地域の食文化や伝統に対する理解と関心を深めた。施設や設備、備品の老朽化が進んでいるため突発的に故障が発生し、年に数回は緊急に修繕を行わなければならないか、備品の多くが劣化しているため前倒して更新する必要がある。新型コロナウイルス感染症に伴い、出席停止となった児童生徒が出席停止当日以降、従来の給食停止になるまでに発生する給食費を保護者負担軽減を図るため免除した。		
改善策	適切な栄養管理及び衛生管理が行えるよう施設の保全修繕に努める。また、調理配送委託業者と連携を強化し、スムーズに調理配送を行い、安心・安全な学校給食を提供するよう努める。長期間使用しているため、修繕予定の分以外に突発的に発生する備品の故障や破損にも対応する必要があり、安心安全な学校給食を児童生徒に供給していくためにもいつ、どのような機器を更新したり、修繕を行うかを優先順位を付けて判断して対応する。令和4年度は厨芥処理システムの修繕や汁物用の食缶の更新を予定している。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
		予算編成に記入(3次公表時)

VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	--